

郡山市ふれあい科学館年報

— 平成28年度版 —



展望ロビー入館者400万人達成
記念セレモニー



15周年記念 式典



開館15周年記念
スペースパーク企画展
「ブラレールフェスティバル」



開館15周年記念
『鉄道の日鉄道フェスティバル
〜きかんしゃトーマスとなかまたち〜



夏休みドーム映像番組
「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」
入館者15,000人達成



第31回星の講演会
＜『やってみる』からはじめよう＞
講師：岩谷圭介氏

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社

目 次

はじめに		6 調査・研究・発表	67
Ⅰ 施設のあらまし		(1) 天文関連協議会調査	67
1 設置目的	1	(2) 天文関連先進館調査	67
2 運営方針	2	(3) 天文関連最新情報調査	67
3 施設概要	3	(4) 展示協議会等調査	67
4 組織概要	5	(5) 展示最新情報調査	68
5 歴代館長	6	(6) 展示系学術発表	68
6 沿革	6	7 その他	69
Ⅱ 平成28年度事業活動実績		(1) 運営協力	69
1 開館15周年記念事業	15	(2) ボランティア活動の推進	70
2 宇宙劇場運営	23	(3) 博物館実習プログラム	77
(1) プラネタリウム番組投映	23	(4) インターンシップ(就業体験)受入れ	78
(2) 音楽コンサート	30	Ⅲ 平成28年度広報・サービス活動	
3 展示ゾーン運営	31	1 広報PR活動	79
(1) 体験型展示物の運転	31	(1) 広報戦略活動	79
(2) 科学の実験ショー・実験工作教室等	31	(2) 広報紙及び雑誌・看板等	79
(3) パソコン工房	35	2 営業活動	80
(4) 実験工房	36	Ⅳ 平成29年度事業活動計画	
(5) 団体利用向け科学教室	37	1 宇宙劇場運営	81
(6) Nゲージ鉄道ジオラマショー	37	2 展示ゾーン運営	85
(7) 学校長期休業期間中の特別事業	38	3 資料の収集・展示等	89
4 資料の収集・展示等	40	4 教育普及活動	89
(1) 資料の収集保管	40	5 調査・研究・発表	97
(2) 資料の展示	40	6 その他	97
(3) 資料の解説	40	Ⅴ 予算・決算	
5 教育普及活動	42	1 平成28年度決算	100
(1) 講演会	42	2 平成29年度予算	101
(2) 講座・体験学習・ワークショップ	43	Ⅵ 施設利用状況	
(3) 天体観望会	49	1 月別入館者数	102
(4) 企画展	50	2 施設別入館者数	103
(5) 学習支援	54	3 宇宙劇場区分別入館者数	107
(6) アウトリーチ事業(出前講座)	55	4 展示ゾーン区分別入館者数	108
(7) クラブ活動	57	5 平成22年から平成28年度までの変遷	110
(8) 作品募集	60	6 平成28年度施設利用状況の結果分析	114
(9) 社会的弱者に配慮した事業	65	Ⅶ その他	
(10) 出版	65	1 条例・規則	117
(11) 情報発信	65	2 利用案内	125
		3 スペースパークボランティアの会会則	126

はじめに

郡山市ふれあい科学館は平成13年10月1日に開館し、平成28年度は開館15周年を迎えた節目の年でした。

当科学館の設置目的である、「理科離れ、科学技術離れへの対応」、「市民の生涯学習意欲への対応」、「都心部の回遊性と集客」の実現を目指し、この15年間、公益財団法人郡山市文化・学び振興公社が郡山市から管理運営の委託を受け、多くの皆様が興味関心を持って御来館し、楽しんでいただけるよう、職員一同鋭意努力を重ねて参りました。

この間、有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者が2,283,682人、無料ゾーン（展望ロビー）の入館者が4,148,679人と市内外から大変多くのお客様に御来館いただきました。

これは単に科学館固有の魅力といった要因だけではなく、郡山駅西口の広場やビッグアイ、さらには周辺の商業施設の魅力と深くかかわりのあるもので、本地域への集客力を向上させるための様々な要因の相乗効果の賜物であり、中心市街地の活性化と言った点では、当科学館もその一翼を担っているものと考えております。御利用いただきました皆さま、さらには、多方面より御支援いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

「開館15周年記念イベント」として、10月1日、2日を無料開放し「開館15周年記念式典」をはじめ、「記念講演」、「記念コンサート」、「記念もちつき」、「星座ビンゴ大会」、「プラネタリウム特別プログラム投映」、「ハイスクール科学祭」、「トリックアート展」、さらに、名誉館長である松本零士先生の作品を紹介する展示コーナー「松本零士コーナー」を設け、大変盛況の中開催することが出来ました。

さらには、9月～10月にはプラネタリウム一般番組「－開館15周年記念－21世紀宇宙新発見」を投映、10月には「鉄道の日 鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち～」を、12月には「スペースパーク企画展『プラレールフェスティバル』」を開催し多くの御家族連れにお楽しみいただきました。これらの事業を開催したことで、普段あまり科学館に足を向けない多くの市民の方にも御来館いただけたものと考えておりますが、当科学館が再認識され、科学館に来館することが日常生活の中の一部となることを願っております。

その他、28年度の主な事業であります。宇宙劇場では年間5種類のドーム映像番組を投映しました。春（4月）には「ボラリスー氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦」、夏には「ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ」、冬には「ナットのスペースアドベンチャー」、春（3月）には「くまのがっこう ジャッキーのおほしさ」と「planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を投映しお楽しみいただきました。春（3月）の2本の番組はドーム映像としては、当科学館での投映が日本初公開となりました。

星の講演会では、郡山市出身在住のふうせん宇宙撮影家岩谷圭介さんをお招きし、素晴らしい宇宙の映像を映しながら、ふうせん宇宙撮影の魅力と挑戦することの大切さについてご講演いただきました。

当科学館が科学の広い分野を市民の方に紹介するため開催している連携事業につきましても、福島大学、日本大学工学部、新潟大学工学部、曾田香料株式会社と連携し、最新の科学の紹介や簡単な実験・工作を行い、多くの来場者に科学の面白さを体験していただきました。特に曾田香料株式会社の方を講師にお招きし開催した「香りの魅力 ～オリジナル香水を作ってみよう～」は受付開始当日に定員に達してしまうほどの人気で、改めて市民ニーズの把握が重要であることを考えさせられました。

当科学館の自主運営組織スペースパークボランティアの会（S.P.V）の活動も13年目を迎え、多くの方に認知され、各方面での活動が増加しております。講師を招き研修会を行うなど会員一人一人がやりがいを感じ、より一層の活躍を目指しているところであります。

平成29年度は、宇宙劇場では2月・3月にプラネタリウムイブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継」を、展示ゾーンではスペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を、当科学館では開館以来初めて夏の時期に開催するなど、より多くの市民の皆さんは勿論、県内外の皆さんに当科学館に御来館いただけますよう、多種多様な事業を開催する予定であります。

結びに、このたび平成28年度の事業活動実績及び平成29年度の事業活動計画等をまとめた「郡山市ふれあい科学館年報」を発行させていただきましたので、本年報により、当科学館の事業活動に対し、ご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、より一層の御支援、後協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 施設のあらまし

1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

(1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

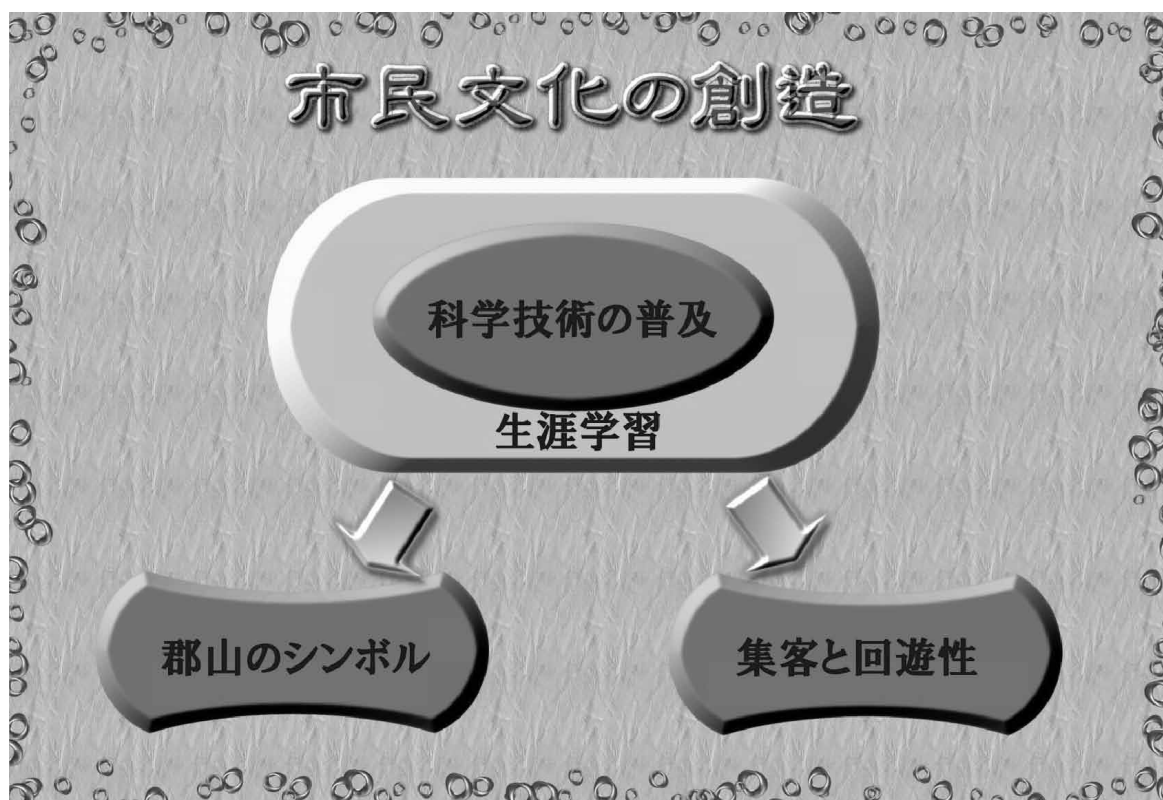
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

(2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

(3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



2 運営方針

基本コンセプト

宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

基本テーマ

地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローピング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号
(ビッグアイ 20～24 階)

構 造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造

※ビル全体の構造 (地上高 133 m)

面 積：4,337.37㎡ (内専用部分 3,459㎡)

郡山市ふれあい科学館 フロア案内

宇宙劇場 – 23・24F –

劇場、ホワイエ

○規模

直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席

○機器

スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか

○展示品

アースタッチング

展望ロビー – 22F –

メインエントランス、カフェ・ショップほか

○展示品

Nゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネットほか

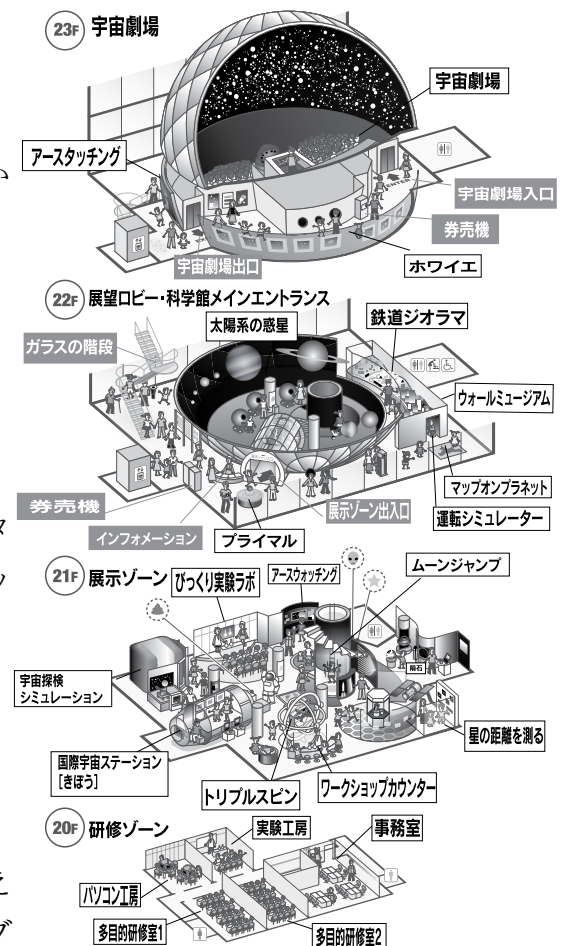
展示ゾーン – 21F –

○展示品

– プロローグ –

プロローグ「惑星」、コペルニクス考えた宇宙、ハーシェル考えた宇宙、ハッブル

スペースパークフロアマップ



- ルの考えた宇宙ほか
- －スペースフロンティア－
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンのほか
- －クエスト・オブ・ザ・ユニバース－
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- －アースウォッチング－
- アースウォッチングほか

研修ゾーン － 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

総事業費

4,331,480,716 円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

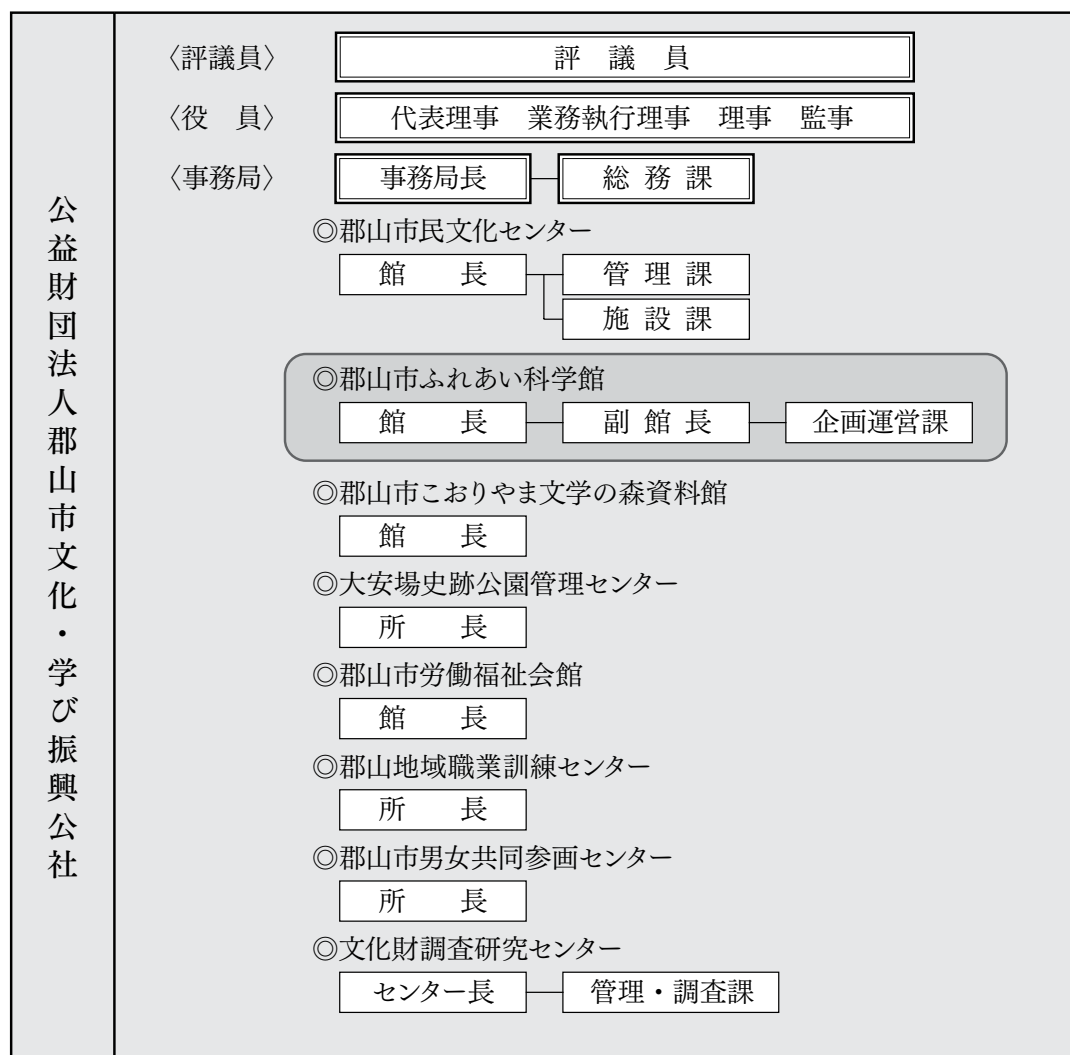
* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

4 組織概要

(1) 組織図＜平成 28 年度＞



(2) 職員配置〈平成29年3月31日現在〉

館長（1）、参事兼副館長事務取扱（1）

－企画運営課（35）－

課長、主任（4）、主査（3）、主事（3）、常勤嘱託職員（2）、非常勤嘱託職員（1）
臨時職員（21）

合計 37 人

5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市川正道	平成28年4月1日～平成29年3月31日

6 沿革

▶平成10年度

<平成10年4月>

- 郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表
※郡山市教育委員会青少年課が所管

<平成10年10月～平成11年1月>

- 基本計画策定

▶平成11年度

<平成11年5月～11月>

- 基本実施設計策定

<平成12年3月>

- 財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

▶平成12年度

<平成12年4月>

- 郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

<平成12年9月>

- 科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

<平成12年12月>

- 科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

<平成13年3月>

- 郡山市ふれあい科学館条例制定

▶平成13年度

<平成13年4月>

- ビッグアイに科学館準備室移転

<平成13年7月>

- シンボルマーク及びロゴタイプ決定

<平成 13 年 8 月>

○22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

○郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“第 1 回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

○ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

○有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

○展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

○ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

○鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

○開館 1 周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

○展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

○常陸宮両殿下御視察

○開館 1 周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

○開館 1 周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

○展示ゾーン新展示物設置

H2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

＜平成 15 年 4 月＞

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

＜平成 15 年 6 月＞

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

＜平成 15 年 7 月＞

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

＜平成 16 年 2 月＞

○スペースパークボランティアの会設立

＜平成 16 年 3 月＞

○展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

＜平成 16 年 5 月＞

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

＜平成 16 年 6 月＞

○有料ゾーン入館者が50万人突破

＜平成 16 年 9 月＞

○高円宮妃殿下御視察

＜平成 16 年 10 月＞

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念
小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

＜平成 16 年 11 月＞

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

＜平成 17 年 2 月＞

○県内 5 館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館 3 周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

＜平成 17 年 9 月＞

○アインシュタイン特別企画 ～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

＜平成 18 年 3 月＞

○展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成 18 年度

<平成 18 年 9 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催（9・10月）

<平成 18 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催
- 国際宇宙ステーション（ISS）の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成 18 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成 19 年 3 月>

- “ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成 19 年度

<平成 19 年 7 月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成 19 年 10 月>

- 「第 5 回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

<平成 19 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催
- 展望ロビー入館者が200万人突破

<平成 20 年 1 月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成 20 年度

<平成 20 年 6 月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」”開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成 20 年 7 月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成 20 年 12 月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成 21 年度

<平成 21 年 4 月>

○世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成 21 年 7 月>

○“夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”放映開始

○“世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

<平成 21 年 11 月>

○“全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

<平成 21 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催

○“冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”放映開始

○“世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

▶平成 22 年度

<平成 22 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始

<平成 22 年 11 月>

○“全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

<平成 22 年 12 月>

○“スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始

<平成 23 年 3 月>

○「東日本大震災」により 3 月11日より休館

▶平成 23 年度

<平成 23 年 4 月>

○「東日本大震災」により 4 月28日まで休館、4 月29日より開館

○“スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成 23 年 7 月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”放映開始

○“はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

<平成 23 年 8 月>

○“「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成 23 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成 23 年 12 月>

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえものの科学みらい展」”開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”投映開始

<平成 24 年 1 月>

- 「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

<平成 24 年 2 月>

- 展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成 24 年度

<平成 24 年 4 月>

- “宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催

<平成 24 年 5 月>

- 郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

<平成 24 年 6 月>

- 郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成 24 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を 7 月14日から16日、7 月21日から 8 月26日まで投映

<平成 24 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を12月 1 日から 1 月14日まで開催
- “冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を12月 1 日から 2 月24日までロングラン投映

<平成 25 年 1 月>

- 全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

<平成 25 年 2 月>

- “イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」”を夜間投映
- 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成 25 年度

<平成 25 年 5 月>

- “パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

<平成 25 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」”を 7 月20日から 8 月25日まで投映

<平成 25 年 11 月>

- “全館企画「アイソンスペシャル！」”を11月 9 日から12月 8 日まで開催

○“アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成 25 年 12 月>

○“冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで投映

○“スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

<平成 26 年 1 月>

○“天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

<平成 26 年 3 月>

○“スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

▶平成 26 年度

<平成 26 年 7 月>

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」”を7月19日から8月24日まで投映

<平成 26 年 9 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展”を9月2日から10月31日まで開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会”を9月27日・28日に開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会”を開催

<平成 26 年 10 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」”を10月4日から26日まで投映

○“皆既月食観望会”を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 26 年 11 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」”を開催

○JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成 26 年 12 月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成 27 年度

<平成 27 年 4 月>

- “皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- 有料ゾーン入館者が200万人突破

<平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」 特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

<平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

<平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

<平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

<平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

▶平成 28 年度

<平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス -氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！」”を4月1日から5日まで投映

<平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで投映

<平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

<平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催
 - ・開館15周年記念式典
 - ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
 - ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
 - ・ハイスクール科学祭
 - ・トリックアート展
- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」”を開催

<平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

<平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、
「Planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

Ⅱ 平成 28 年度事業活動実績

1 開館 15 周年記念事業

＜プラネタリウム番組投映 一般番組「－開館 15 周年記念－ 21 世紀 宇宙新発見＞

☆開催期間 平成 28 年 9 月 1 日（木）～ 10 月 30 日（日）

☆投映時間 平日の第 3 回目及び土曜・日曜・祝日の第 2・4 回目、団体利用がない
平日の第 1・2 回目

☆開催場所 宇宙劇場

☆投映回数 86 回

☆観覧者数 2,947 人

＜開館 15 周年記念イベント＞

2016 年 10 月 1 日をもって 15 周年を迎えるにあたり記念事業を行った。

また、科学館により親しんでもらうため無料開放を行い、さまざまな科学に関する催しを全館あげて行った。

☆開催日時 平成 28 年 10 月 1 日（土）・2 日（日） 10 時～ 17 時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館（第 1 会場）・ビッグアイ（7 階（第 2 会場）・1 階（第 3 会場））

☆対 象 一般入館者

☆総入館者数 9,317 人（10 月 1 日：3,913 人、10 月 2 日：5,404 人）

◇第 1 会場（20 階～ 24 階 科学館内）

●開館 15 周年記念オープニング

☆開催日時 10 月 1 日（土） 10 時～ 10 時 05 分

☆開催場所 展示ゾーン入口

☆出席者 松本零士先生（名誉館長）、市長、宇宙少年団こおりやま分団の子どもたち

☆開催内容 開館 15 周年のオープニングにテープカットを行った。

●開館 15 周年記念式典

☆開催日時 10 月 1 日（土） 10 時 10 分～ 11 時 40 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆出席者 松本零士先生（名誉館長）、市長、教育長、郡山市議会総務財政常任委員会委員長、渡部潤一氏（国立天文台副台長）、辻村結實子氏（シンガーソングライター）ほか 計 180 人

☆司 会 本多 遥氏（ヴォイス・プロ）

●開館 15 周年記念講演会

☆開催日時 10 月 1 日（土） 10 時 30 分～ 11 時

☆開催場所 宇宙劇場

☆講 師 渡部潤一氏（国立天文台副台長）

☆参加者数 180 人

●開館 15 周年記念コンサート

☆開催日時 10 月 1 日 (土) 11 時 05 分～ 11 時 35 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆講演奏者 辻村結實子氏 (シンガーソングライター)

☆参加者数 180 人

●開館 15 周年記念プラネタリウム特別プログラム

☆開催日時 10 月 1 日 (土) 12 時～ 17 時の毎時 30 分開演 (式典開催のため)
2 日 (日) 10 時～ 17 時の毎時 30 分開演

☆開催場所 宇宙劇場

☆観覧者数 2,531 人 (10 月 1 日 : 1,061 人 10 月 2 日 : 1,470 人)

☆開催内容 各回約 30 分のプラネタリウム特別プログラムを投映した。
内容と時間構成は下表のとおり。

10 月 1 日 (土)

	ジャンル	テーマ	観覧者数
12 時 30 分	ドーム映像の時間	ポラリス	223 人
13 時 30 分	星空の時間	今夜の星空とオーロラツアー	228 人
14 時 30 分	キッズタイム	大宇宙クイズ大会	212 人
15 時 30 分	宇宙の時間	～大西宇宙飛行士滞在中～ 国際宇宙ステーション	161 人
16 時 30 分	星空の時間	星空 100 万年の旅	125 人
17 時 30 分	星と音楽の時間	宙とロック (特別版)	112 人

10 月 2 日 (日)

	ジャンル	テーマ	観覧者数
10 時 30 分	キッズタイム	みぢかなうちゅうのおはなし 「ほしみるおじさん」	221 人
11 時 30 分	宇宙の時間	郡山から宇宙へ ～15 年前の郡山発宇宙の果て行き～	147 人
12 時 30 分	ドーム映像の時間	From Earth to the Universe ～宇宙の旅へ～	200 人
13 時 30 分	星空の時間	郡山の星空・南半球の星空	186 人
14 時 30 分	キッズタイム	みんなの星空質問箱「ライブ 30」	227 人
15 時 30 分	宇宙の時間	宇宙カレンダー	182 人
16 時 30 分	星空の時間	今夜の星空とオーロラツアー	194 人
17 時 30 分	星と音楽の時間	2001 年音楽の旅	113 人

●松本零士コーナー

☆開催日時 10月1日(土)・2日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン(展示ケースコーナー)

☆開催内容 当科学館名誉館長である松本零士先生の作品を紹介する展示コーナー。色紙・原画・セル画・書籍・フィギュアなど展示。併せて直接代表作を閲覧できる書籍開架コーナーを設置した。

●サイエンスショー／ロボットショー／ゲストショー・ブース

☆開催日時 10月1日(土)・2日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン(びっくり実験ラボ及び「宇宙のポートレート」付近)

☆開催内容 びっくり実験ラボでサイエンスショーを特別メニューを含めて実施したほか、新型ロボットのお披露目を兼ねたロボットショー、ゲストによるサイエンスショーを開催した。また、ゲストによる工作等のブースを設けた。

(1) びっくり実験ラボにおける実施スケジュール

10月1日 【21階】	10時30分 ショー	11時30分 ゲスト ショー	12時30分 ロボット	13時 特別ショー	14時30分 ゲスト ショー	15時30分 ロボット	16時 ショー
10月2日 【21階】	10時30分 ショー	11時30分 特別ショー	12時30分 ロボット	13時 ショー	14時30分 特別ショー	15時30分 ロボット	16時 ショー

※ショー：サイエンスショー「風船で大実験」

ゲストショー：ムシテックワールドサイエンスショー「100円グッズでショー」

ロボット：ロボットショー

特別ショー：サイエンスショー特別メニュー「超低温の世界」

(2) ゲストブース

10月1日(土)

☆開催内容 「電気で作ろうホットケーキ」、「ストローでつくるトロンボーン」、「スーパーボールを作ろう」、「鏡のない万華鏡」、「プロペラ型かざぐるまをつくろう」

☆参加団体 郡山市立郡山第三中学校、郡山市立郡山第一中学校、郡山市立永盛小学校、福島市こどもの夢をはぐくむ施設こむこむ

10月2日(日)

☆開催内容 「カライドサイクルでふりカエル」、「空気と生ゴム袋とビニール袋の関係」、「目の錯覚を楽しもう」

☆参加団体 ふくしまサイエンスプラットフォーム、新福島芸能倶楽部、折紙造形・四季折々

●ハイスクール科学祭／サイエンススタジオ

☆開催日時 10月1日(土)・2日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン(多目的研修室および実験工房)

☆参加団体 郡山北工業高校自然科学部、日本大学東北高校理科部、福島高校ス

ーパーサイエンス部、郡山萌世高校理科部、安積黎明高校化学部
☆開催内容 県内の高校生による実験・工作コーナーを設けたほか、科学館スタッフによるサイエンススタジオ「磁石のひみつ」を開催した。

展示ゾーン観覧者数：3,653 人（10 月 1 日：1,502 人、10 月 2 日：2,151 人）

◇第2会場（ビッグアイ7階）

●トリックアート展

☆開催日時 10 月 1 日（土）・2 日（日） 10 時～17 時

☆開催場所 ビッグアイ 7 階大会議室

☆参加者数 2,953 人（10 月 1 日：1,170 人、10 月 2 日：1,783 人）

☆開催内容 遠近法や陰影法など様々な画法や立体的トリックを駆使したアートを展示する企画展を開催した。

◇第3会場（ビッグアイ1階）

●記念もちつき／星座ビンゴ大会

☆開催日時 記念もちつき 10 月 1 日（土） 13 時～

星座ビンゴ大会 10 月 1 日（土） 14 時～

☆開催場所 ビッグアイ1階 エスカレータ下特設ステージ

☆開催内容 開館 15 周年を記念したもちつきと、記念品をプレゼントする星座ビンゴ大会を開催した。



オープニングの様子



式典の様子



式典・記念講演の様子



式典・記念コンサートの様子



プラネタリウム特別プログラムの様子



サイエンスショーの様子



松本零士コーナーの様子



ゲストブースの様子



ハイスchool科学祭の様子



トリックアート展の様子



記念もちつきの様子



星座ビンゴ大会の様子

＜開館 15 周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち～」＞

10 月 14 日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会や J R 郡山駅、J R 貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部などの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。また、開館 15 周年を記念して、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の企画展を実施した。

☆開催日時 平成 28 年 10 月 8 日(土)～10 日(月・祝)、10 月 12 日(水)～16 日(日) 10 時～17 時

☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン及び多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆参加者数 9,540 人

☆内 容 (1)「きかんしゃトーマスとなかまたち」企画展

ア レッツゴートーマス

実際に乗車できる「きかんしゃトーマス」を設置し、乗車体験を行った。

イ ファサードトーマス

会場入り口で来館者をお出迎えする車両を設置した。

ウ 迷路ふわふわ

トーマスのなかまたちに出会える迷路を設置し、体験していただいた。

(2) 鉄道ジオラマショー

1 日 3 回行っているジオラマショーを、期間中は毎日 1 時間ごと、計 7 回行った。また、11 時、13 時、15 時、17 時からの 4 回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

(3) N ゲージ鉄道車両操作体験

人気の N ゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行った。

(4) 工作コーナー

ボランティアの方などの協力により、くるりんパズル作りを行った。

(5) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(6) 特設コーナーイベント

JR 貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部の協力により、鉄道に関する商品やゲームを紹介した。



きかんしゃトーマスとなかまたちの様子



プラレールコーナーの様子

<開館 15 周年記念 スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」>

例年行っているスペースパーク企画展を開館 15 周年に伴い規模を拡大して、郡山の発展にも関連した鉄道にちなんで「プラレールフェスティバル」を開催した。

☆開催日時 平成 28 年 12 月 3 日(土)～平成 29 年 1 月 9 日(月・祝) 10 時～17 時

☆開催場所 第 1 会場：ビッグアイ 6 階

第 2 会場：多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆参加者数 16,152 人

☆内 容 ◇第 1 会場(ビッグアイ 6 階)

(1) プラレールタワーゲート

6 階会場入口で約 20 段のプラレールタワーを展示した。

(2) 列車大集合！！

0 系新幹線の立体オブジェと、様々な鉄道の正面のイラストを、来場者の記念写真撮影用に展示した。

(3) 新幹線をつなごう！

東北地域を走る新幹線の連結の様子を模型で再現して展示した。

(4) 貨物ターミナル

一定時間で底が開いてしまう貨物コンテナに、荷物に見立てたボールをどれだけ入れられるか、挑戦していただいた。

(5) 走り出せ！蒸気機関車～不思議な写真が撮れるよ～

写真撮影を行うと立体的に映るトリックアートの手法により描いた、蒸気機関車のパネルを展示した。

(6) プラレールジオラマ

プラレールで制作された街にプラレール車両が走り回るジオラマを展示した。

(7) プレイランド

来場者が親子で自由にプラレールで遊ぶことができるコーナーを用意した。

◇第 2 会場(20 階 多目的研修室)

(1) スロットプラレール

様々な新幹線の車輦が描かれた3つのドラムを回して、3つのドラムで同じ車両がそろそろクリアとなるアトラクションを展示した。

(2) 車庫入れゲーム

回転する車庫に向けてプラレール車両を走らせると、タイミングによってクリアの車庫か通常的車庫のいずれかに入庫するアトラクションを展示した。

(3) プラレールあみだくじ

プラレールを使ったあみだくじで、複数のレールから好きなレールを選んで車両を走らせると、地下部分のポイントによってクリアの終点か、通常の終点のいずれかに到着するアトラクションを展示した。

(4) レッツゴートーマス

会場内を走る機関車トーマスに乗車できる展示を行った。

(5) トーマスプラレールコーナー

機関車トーマスの世界を再現したジオラマにトーマスなどの車両が走り回る展示を行った。



プラレールフェスティバル6階の様子



プラレールフェスティバル 20 階の様子

2 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

<宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分間

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時(※ 1)	19 時(※ 2)
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	
夏休み期間等 (※ 3)	10 時 30 分	11 時 40 分	13 時	14 時 20 分	15 時 40 分	17 時

※ 1 12/6 ～ 22、3/7 ～ 23 のみ投映

※ 2 金曜日のみ投映

※ 3 夏休み期間、12/3 ～ 1/9 の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、3/4 ～ 31 の土曜・日曜・祝日・春休み期間

一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第3・5回目、12/3 ～ 1/9・3/4 ～ 31 の土曜・日曜・祝日・冬休み期間・春休み期間の第2・5回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
第2の地球探し ～系外惑星～	平成28年4月1日(金)～4月30日(土)	57 回	927 人
宇宙ステーションへの旅	平成28年5月1日(日)～6月30日(木)	96 回	3,639 人
太陽系の仲間たち	平成28年7月1日(金)～8月31日(水)	112 回	5,066 人
ー開館 15 周年記念ー 21 世紀 宇宙新発見	平成28年9月1日(木)～10月30日(日)	86 回	2,947 人
ダイナミックな銀河	平成28年11月1日(火)～12月30日(金)	101 回	2,218 人
宇宙からのふしぎな信号 ～パルサーの世界～	平成29年1月2日(月)～2月28日(火)	92 回	1,879 人
オーロラ旅行	平成 29 年3月1日(水)～3月31日(金)	53 回	1,831 人

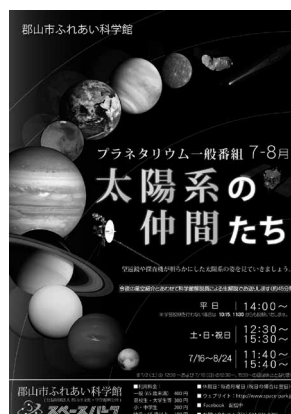
観覧者総数 18,507 人



第2の地球探し
～系外惑星～



宇宙ステーションへの旅



太陽系の仲間たち



21 世紀 宇宙新発見



ダイナミックな銀河



宇宙からのふしぎな信号
～パルサーの世界～



オーロラ旅行

キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人と一緒に楽しめるように、易しい解説を加えたプラネタリウム番組を放映した。

放映時間：土曜・日曜・祝日、春休み・ゴールデンウィーク期間の第1・3回目、夏休み期間の第2回目、12/5～1/11・3/5～31の土曜・日曜・祝日・冬休み期間・春休み期間の第3回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ほしぞらのどうぶつたち	平成28年4月1日(金)～5月29日(日) ※4月29日(金)～5月5日(木)を除く	34 回	773 人
うちゅうのおはなし「ほしみるおじさん」と星空めぐり	平成28年4月29日(金)～5月5日(木)	12 回	1,448 人
たなばたの星をみよう!	平成28年6月4日(土)～8月9日(火)	46 回	2,239 人
お月見をしよう!	平成28年8月10日(水)～9月25日(日)	39 回	1,978 人
おたんじょうびのせいざ	平成28年10月8日(土)～11月27日(日)	38 回	1,370 人
ふゆの星座めぐり	平成28年12月3日(土)～平成29年1月29日(日)	33 回	1,072 人
宇宙旅行にでかけよう!	平成29年2月4日(土)～3月31日(金)	29 回	1,163 人

観覧者総数 10,043 人



ほしぞらのどうぶつたち



うちゅうのおはなし「ほしみるおじさん」と星空めぐり



たなばたの星を見よう！



お月見をしよう！



おたんじょうびのせいざ



ふゆの星座めぐり



宇宙旅行にでかけよう！

ドーム映像番組

全天周映像（ドーム映像）に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を学校長期休業期間中に放映した。特に夏休みの放映にあたっては先行試写会など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、モルティ事業部と連携し商業施設での展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬期間にも全天周映像に星空紹介を加えたドーム映像番組の上映及びモルティ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ポリリス - 氷のナゾに挑む ペンギンとシロクマの 宇宙大作戦！	平成 28 年 4 月 1 日（金）～5 日（火）	10 回	506 人
ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ	平成 28 年 7 月 16 日（土） ～8 月 24 日（水）	119 回	15,154 人
ナットの スペースアドベンチャー	平成 28 年 12 月 3 日（土） ～平成 29 年 1 月 9 日（月）	48 回	3,350 人
くまのがっこう ジャッキーのおほしさま	平成 29 年 3 月 4 日（土） ～3 月 31 日（金）	25 回	2,182 人
planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版	平成 29 年 3 月 4 日（土） ～3 月 31 日（金）	25 回	1,770 人

また、指定管理者の自主事業として、平成 29 年 3 月に春のドーム映像番組 2 作品を 3 月の休日及び春休み期間に投映した。

＜春のドーム映像番組「ポラリス ―氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！―」＞
投映期間：春休み期間（平成 28 年 4 月 1 日～5 日）の第 1・4 回目

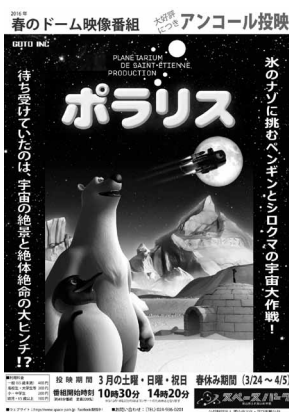
＜夏休みドーム映像番組「ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ」＞
投映期間：夏休み期間（7 月 16 日～8 月 24 日）の第 1・3・5 回目

＜冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」＞
投映期間：12 月 3 日～平成 29 年 1 月 9 日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間（12 月 23 日～27 日・平成 29 年 1 月 5 日・6 日）の第 1・4 回目、年末・年始（12 月 28 日～30 日・平成 29 年 1 月 2 日～4 日）の第 3 回及び 12 月 6 日～22 日の平日の第 5 回目

＜春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」＞
投映期間：平成 29 年 3 月 4 日～31 日の土曜・日曜・祝日・春休み期間（3 月 24 日～31 日）の第 1 回目、及び 3 月 7 日～23 日の平日の第 2 回目

＜春のドーム映像番組「planetarian ～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」＞
投映期間：平成 29 年 3 月 4 日～31 日の土曜・日曜・祝日・春休み期間（3 月 24 日～31 日）の第 4 回目、及び 3 月 7 日～23 日の平日の第 5 回目

観覧者総数 22,962 人



ポラリス



ウォーキング with ダイナソー
太古の地球へ



ナットのスペース
アドベンチャー



くまのがっこう
planetarian

＜夏休みドーム映像番組「ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ」先行試写会＞

夏休みドーム映像番組の先行試写会を行い、話題づくりと作品の見どころについて紹介した。

☆開催日時 平成28年7月10日(日) 11時30分～12時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者205人

☆内 容 主催者あいさつ、松本零士名誉館長ビデオメッセージ、作品の見どころ紹介、番組鑑賞、1階関連展示テープカット



試写会の様子



関連展示テープカットの様子

イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組放映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を放映した。

番組タイトル	放映日時	放映回数	観覧者数
星空ライブ 60 ～春の星空編～	平成28年5月4日(水) 18時30分～19時30分	1回	52人
星空ライブ 60 ～夏の星空編～	平成28年7月16日(土) 18時30分～19時30分	1回	37人
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム!～	平成28年8月4日(木)～6日(土) 18時30分～19時	3回	118人
星空ライブ 60 ～夏休みスペシャル～	平成28年8月9日(火)～11日(木) 18時30分～19時30分	3回	48人
月世界探訪	平成28年9月10日(土)・11日(日) 18時30分～19時30分	2回	57人
星空ライブ 60 ～秋の星空編～	平成28年10月8日(土) 18時30分～19時30分	1回	34人
クリスマスの星空	平成28年12月24日(土)・25日(日) 18時30分～19時30分	2回	237人
星空ライブ 60 ～冬の星空編～	平成29年1月7日(土) 18時30分～19時30分	1回	21人
バレンタインの夜に ～星空の恋物語～	平成29年2月11日(土)・12日(日) 18時30分～19時30分	2回	95人

観覧者総数 699人

学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル（対象）	投映期間	投映回数	観覧者数
星座をみつけよう（小学校低学年以上）	通 年	24 回	1,535 人
日なたと日かげ（小学校中学年以上）		2 回	86 人
月と星の動き（小学校中学年以上）		39 回	3,597 人
月と太陽（小学校高学年以上）		2 回	172 人
地球と宇宙（中学生向け）		6 回	379 人
宇宙のお話（中学生以上）		5 回	527 人

観覧者総数 6,296 人

幼児番組

※幼児週間に集中して投映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
おたんじょうびのせいざ	平成 28 年4月～5月	2 回	250 人
たなばたのほしまつり	平成 28 年6月～7月中旬	18 回	2,149 人
つきりょこうにでかけよう	平成 28 年8月下旬～9月	1 回	63 人
ながれぼしをみてみよう	平成 28 年 10 月～ 12 月	14 回	676 人
ほしのこどもたち ～すばるほしのおはなし～	平成 29 年1月～3月	14 回	711 人

観覧者総数 3,849 人

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を投映した。（字幕作成協力：郡山市要約筆記サークル）

☆ 開催日時 平成 28 年 6 月 25 日（土） 12 時 30 分～13 時 15 分

☆ 内 容 プラネタリウム一般番組「宇宙ステーションへの旅」

☆ 観覧者数 73 人

- ☆ 開催日時 平成 29 年 3 月 26 日 (日) 11 時 40 分～12 時 25 分
- ☆ 内 容 プラネタリウム一般番組「オーロラ旅行」
- ☆ 観覧者数 90 人

開館 15 周年記念イベント プラネタリウム特別プログラム

開館 15 周年記念イベントの際に、対象・内容構成別のプラネタリウム特別プログラムを放映した。(内容等詳細は 16 ページを参照)

観覧者総数 2,531 人

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽 (C D) を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間：平日 (祝日・学校長期休業期間等を除く。) の第 4 回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第 5 回目 (夏休み期間を除く。)

毎週金曜日の第 6 回目

月	音 楽 テ ー マ	放映回数	観覧者数
4月	宙とロック～日本のバンド特集～	61 回	3,278 人
5月			
6月	ヒーリングミュージック～久石譲の世界～	30 回	1,029 人
7月	なつうた～夏空の思い出～	26 回	962 人
8月			
9月	星物語～アニメソング特集～	31 回	986 人
10月	海外アーティスト特集	57 回	1,140 人
11月			
12月	2001 年音楽の旅～星空・宇宙ダイジェスト～	55 回	1,347 人
1月			
2月	ラブソング特集	60 回	1,494 人
3月			

観覧者総数 10,236 人

宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

<プラネタリウム セタコンサート ～馬頭琴の奏でる音楽とともに～>

☆開催日 平成28年7月2日(土)

☆開催時間 ①15時～16時 ②17時～18時

☆演奏 イラナさん、菅原裕紀さん

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 448人(1回目221人、2回目227人)

※5月21日(土)から観覧券の前売販売を開始

<プラネタリウムコンサート「音速ライン スペースパークライブ ～星空百景～」>

☆開催日 平成28年12月4日(日)

☆開催時間 ①14時30分～15時30分 ②17時30分～18時30分

☆演奏 音速ライン(藤井敬之さん、大久保剛さん)

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 349人(1回目222人、2回目127人)

※10月22日(土)から観覧券の前売販売を開始

<プラネタリウム ファミリーコンサート「ゆうぞうおにいさんのファミリーコンサートII」>

☆開催日 平成29年2月12日(日)

☆開催時間 ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆演奏者 今井ゆうぞうさん

☆演奏回数 2回

☆観覧者数 493人(1回目250人、2回目243人)

※1月14日(土)から観覧券の前売販売を開始し完売

観覧者総数 1,290人



セタコンサートの様子



音速ライン スペースパークライブ
の様子



ファミリーコンサートの様子

3 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10時～17時30分（随時）
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30分ごとに10人程度

トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10時～17時30分（随時）
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30分ごとに7人程度

宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10時～17時30分（随時）※土・日・祝日・学校長期休業期間中は
10時20分から17時40分まで20分ごとに整理券を配布
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 1回8人

(2) 科学の実験ショー・実験工作教室等

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。（約20分間）

- ☆開催時間 平日 10時30分～、13時～
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成28年 4月	ドレミの音で 大実験	47 回	456 人	ドレミパイプを叩いて、音が鳴る仕組みについて解説した。また、ドレミパイプの長さを短くすると音が高くなる実験などを行った。
平成28年 5～6月	野菜を使って 実験しよう!	94 回	1,187 人	浮く野菜と沈む野菜の違いを紹介した。また、野菜の酵素とオキシドールを反応させて酸素を作る実験などを行った。
平成28年 7～8月	燃える科学	111 回	1,529 人	物が燃えるには三つの要素が必要なことを紹介した。また、燃える物によって独自の色を放つ炎色反応の実験などを行った。
平成28年 9～10月	風船で大実験	100 回	1,596 人	柑橘系果物の皮に含まれるリモネンがゴム風船を溶かす性質を利用し、割れる風船を紹介した。風船の伸び縮みで温度が変わる性質を、来館者に体験してもらう実験などを行った。
平成28年 11～12月	シャボン玉で 大実験	104 回	1,123 人	三角や星型の枠でシャボン玉を作る実験や、人が入れるシャボン玉にも挑戦した。また、水素でシャボン玉を作り水素の特性を説明した。
平成29年 1～2月	国際宇宙ステーションはどんなところにあるの?	66 回	490 人	落下中は無重力になる性質を利用し、無重力の状態で泡やビー玉がどのように位置変化するかをカメラで追った。また、真空ポンプを使用し、真空時に起きる現象について紹介した。
平成29年 3月	磁石を使って 実験しよう!	55 回	567 人	磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って鉄球を飛ばす実験などを行った。
平成28年4・5 月(ゴールデン ウィーク)、 10月(開館15 周年記念)	びっくり 超低温の世界	9 回	377 人	液体窒素の中に花やボールなどを入れて凍らせる実験や、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。
平成28年 7・8月 (夏休み)	空気の力で 大実験	39 回	665 人	大気圧を利用して、ボウリングの球を持ち上げる実験やアルミ缶を潰す実験などを行った。

参加者数 7,990 人



野菜を使って実験しよう!の様子



燃える科学の様子



風船で大実験の様子

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催時間 ① 11時30分～、② 14時30分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成28年 4月	まさつの科学	48回	420人	さまざまな素材の面の上でおもりをすべらせ、その違いを実験した。また、コロに見立てたストローの上をすべらせたり、車輪をつけた台車の上をすべらせることで、摩擦を小さくできることも実験した。さらに、摩擦を利用してのぼるサルの工作を行った。
平成28年 5月	地球は生きている 岩石のひみつ	44回	391人	5月10日の「地質の日」にちなみ、さまざまな種類の岩石を比較して違いを観察した。また、堆積岩のでき方の実験や、特殊な鉱物を使った実験も行った。さらに、岩石の一種である岩塩を使ったアクセサリーの工作を行った。
平成28年 6月	小さな世界を のぞいてみよう	52回	524人	小さな世界をテーマに、顕微鏡を使って、マジックテープや入浴剤などの身近なものが、どのように見えるか観察を行った。また、タピオカストローとビー玉を使った簡易顕微鏡の工作を行った。
平成28年 7月	水ってふしぎ!	53回	928人	冷たい水がおいしいこの季節にちなみ、水をテーマにその性質や循環について実験したほか、生命の誕生や生物が生きていくためにも水が欠かせないことを紹介した。また、水と油を使ったアクセサリーの工作を行った。
平成28年 8月	いろいろな紙	54回	1,274人	繊維の目の方向による破れ方の違いなど、紙の基本的な性質をはじめ、さまざまな機能を持った紙について実験を行った。また、紙の工作として紙相撲の工作を行った。
平成28年 9月	宇宙実験に 挑戦!	52回	539人	宇宙空間の特徴である「真空」「無重量」「プラズマ」をキーワードに実験を行った。真空中の水の沸騰や、水に沈むもの・浮くものと水を入れたペットボトルを投げあげて、自由落下中の様子の観察を行った。また、そうした環境下での使用を考慮したロボットアーム模型の工作を行った。
平成28年 10月	磁石のひみつ	52回	614人	磁石を使った実験を行った。身のまわりで磁石にくっつくもの・くっつかないものを調べる実験をはじめ、磁界の実験やモーターの原理なども実験した。また、ゴム磁石を使ったキツツキの工作を行った。

平成 28 年 11 月	おふろで 科学実験？	52 回	414 人	身近なお風呂をテーマに実験を行った。お風呂の温まり方や洗剤の酸性・アルカリ性を調べる実験、お風呂場で使用する吸盤の実験も行った。さらに、簡単な入浴剤の工作を行った。
平成 28 年 12 月 平成 29 年 1 月	電気のひみつ	86 回	637 人	電気をテーマに、身のまわりで電気が流れるもの・流れないものを調べる実験を行ったほか、シャープペンシルの芯を使った電球の原理の実験、アルミホイルとスプーンと塩水を使った電池の原理を学ぶ実験も行った。最後に、簡易乾電池チェッカーの工作を行った。
平成 29 年 2 月	パチッときたぜ 静電気！	48 回	274 人	冬の乾燥する時期にちなみ、静電気を使った実験を行った。静電気のひきあう性質、しりぞけあう性質をはじめ、静電気を利用して動くモーターの実験も行った。最後は静電気を利用した釣りゲームの工作を行った。
平成 29 年 3 月	空気で実験	41 回	635 人	空気の流れをテーマに実験を行った。ストローで吹く息やドライヤーの風を利用して、スチロール球などを浮かせる実験を通して、最終的に飛行機が飛ぶ原理にも言及した。また、工作としてブーメランを制作した。

参加者数 6,650 人



小さな世界をのぞいてみようの様子



磁石のひみつの様子



パチッときたぜ静電気！の様子

ロボットショー

<ロボットショー>

二足歩行ロボット「パルミー」「ロボベえ」によるダンスやジャンケンなどの様々なパフォーマンスショーを開催し、ロボット技術への興味関心を高めた。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間

① 12 時 30 分～、② 15 時 30 分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆開催回数 308 回

☆参加者数 4,276 人



ロボットショーの様子

<ロボット展示>

声を掛けるとおしゃべりするロボット「ロボトーク」や、自由に触ることができるセ

ラピー用アザラシ型メンタルコミットロボット「パロ」などを展示し、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けた。

わくわくカウンター

科学の幅広い分野を、楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを開催した。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等で開催）

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
ビー玉ごま	回すと模様が変わって見えるペーパークラフトを製作した。
UV ちょうちょう	紫外線に当てると色が変わる紫外線ビーズを使ったアクセサリーを製作した。
ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストローロケットを飛ばすペーパークラフトを製作した。
種、たね、タネ!	より遠くまで飛ぶためにさまざまに進化した種の形を紙で製作した。
プラコップ アクセサリー	プラコップに絵を描いてトースターで作るアクセサリーを製作した。
くるくるツリー	好みにデコレーションした回転式ツリーを製作した。
絵合わせパズル	めくると次々と模様が変わるペーパークラフトを製作した。

(3) パソコン工房

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。（約 50 分間）

☆開催時間 土曜日 13 時 30 分～（イベント開催日は除く。）

☆開催場所 パソコン工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定 員 16 人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成 28 年 4 月	名前シール作り	3 回	38 人	自分の顔写真を使用して、名前のシールを製作した。
平成 28 年 5 月	マグネット作り	4 回	35 人	自分の顔写真を使ったオリジナルマグネットを製作した。
平成 28 年 6 月	うちわ作り	4 回	40 人	自分の顔写真が入ったオリジナルうちわを製作した。
平成 28 年 7・8 月	下じき作り	3 回	68 人	イラストなどを使用したオリジナルの下じきを製作した。
平成 28 年 9 月	フォトカード作り	4 回	21 人	オリジナルのフレームに顔写真を入れた、フォトカードを製作した。
平成 28 年 10 月	シール作り	2 回	11 人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのシールを製作した。

平成 28 年 11 月	プラ板キーホルダー作り	4回	47人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのプラ板キーホルダーを製作した。
平成 28 年 12 月	カレンダー作り	4回	28人	イラストを使用して、オリジナルのカレンダーを製作した。
平成 29 年 1月	しかけカード作り	4回	31人	顔写真とイラストを使用して、楽しいしかけの付いたカードを製作した。
平成 29 年 2月	クリアファイル作り	4回	31人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルのクリアファイルを製作した。
平成 29 年 3月	名刺作り	3回	31人	顔写真やイラストが入った名刺を製作した。

参加者数 381人

(4) 実験工房

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料を使用して科学工作教室を開催した。(約 40 分間)

☆開催時間 日曜・祝日 13 時 30 分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30 人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成 28 年 4月	混ぜて遊ぼう	3回	65人	ホウ砂と洗濯のりを混ぜて、スライムボールを製作した。
平成 28 年 5月	水で遊ぼう	4回	52人	洗濯のりと水を混ぜて、飾って楽しめるスノードームを製作した。
平成 28 年 6月	湿度で遊ぼう	4回	77人	湿度によって色が変わるサイエンスフラワーを製作した。
平成 28 年 7・8月	紫外線で遊ぼう	3回	46人	忍者絵の具を塗り、紫外線の強さによって色が変化するおもちゃを製作した。
平成 28 年 9月	磁石で遊ぼう	6回	86人	2種類の磁石を使い、スティックを登ったり、下りたりする魔法のスティックを製作した。
平成 28 年 10月	鏡で遊ぼう	2回	32人	カッティングミラーに模様を描き、立体的に見える万華鏡を製作した。
平成 28 年 11月	飛ばして遊ぼう	6回	67人	身近にあるストロー等を使い、飛ばして遊べるミニグライダーを製作した。
平成 28 年 12月	光で遊ぼう	5回	98人	LED キャンドルや光ファイバーを使い、色の変化で楽しめるクリスマス用の置物を製作した。
平成 29 年 1月	静電気で遊ぼう	5回	42人	布をこすることによって、静電気が発生し、紙がアクリル板にくっつく様子を観察できる飾り物を製作した。
平成 29 年 2月	錯覚で遊ぼう	4回	73人	カラーワイヤーを使い、不思議な動きをするサインポール(おもちゃ)を製作した。

平成 29 年 3 月	空気で遊ぼう	4 回	25 人	紙コップとストローを使って、くるくる回 るおもちゃを製作した。
----------------	--------	-----	------	------------------------------------

参加者数 663 人

(5) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることが出来る「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に 1 回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対 象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 2,536 人

☆内 容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケコッココップ等 40 種類）、サイエンスショー（パワフル空気の力、超低温の世界）、ロボットショー

(6) Nゲージ鉄道ジオラマショー

Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が 9 mm の N ゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 開館日の① 11 時～、② 15 時～、
③ 17 時～（約 20 分間）

☆見学者数 7,621 人



鉄道ジオラマショーの様子

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

☆料 金 200 円（約 5 分間）

☆運転者数 3,441 人

<ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(7) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぶらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時

ゴールデンウィーク：平成 28 年 4 月 29 日（金・祝）～ 5 月 1 日（日）、
5 月 3 日（火・祝）～ 5 日（木・祝） 10 時～ 17 時

夏休み期間パート I：平成 28 年 7 月 16 日（土）～ 18 日（月・祝） 10 時～ 17 時

夏休み期間パート II：平成 28 年 8 月 11 日（木・祝）～ 16 日（火） 10 時～ 17 時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ゴールデンウィーク：3,719 人

夏休み：4,928 人（パート I 1,551 人、パート II 3,377 人）

☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立郡山高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、郡山女子大学附属高等学校、帝京安積高等学校、日本大学東北高等学校、郡山市立郡山第一中学校、郡山市立郡山第三中学校、郡山市立永盛小学校、福島大学、ふくしまサイエンスぶらっとフォーム個人会員、ムシテックワールド、新福島芸能倶楽部、折紙造形・四季折々、スペースパークボランティアの会

☆内 容 <ゴールデンウィーク>

静電気で不思議な実験を体験しよう！、空気と生ゴム袋とビニール袋の関係、動くスライム、木のピンチで鯉のぼり、手作りサイエンス、ロボットの紹介、ムーンサンド、イリュージョンカード、UV ビーズで遊ぼう！～ B's with 遊 V ～、動物の指人形など

<夏休み>

万能風車、おこちゃまわーると☆～オリジナルしおり～、合成写真を作ってみよう、ヨットカーを作ろう、P 波と S 波～目で見える地震の科学、振ってバターを作ろう、サーモクロミズムアクセサリー、だまされるな！！～五感の不思議～、レモン・オレンジを使った実験など



福島県立郡山高等学校の様子



ムシテックワールドの様子



スペースパークボランティアの会の様子

夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 平成 28 年 7 月 20 日 (水) ～ 8 月 10 日 (水)、
8 月 17 日 (水) ～ 24 日 (水) 10 時～ 17 時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 ゆびごま、ホバークラフトなど 11 種類の工作メニューを数日ごとに替えて行った。

理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生が、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを実演や実験をしながら実施した。

☆開催日時 平成 28 年 7 月 23 日 (土)

① 10 時 30 分～ 12 時 小学校 1・2 年生向け

② 14 時～ 15 時 30 分 小学校 3～6 年生向け

☆開催場所 多目的研修室

☆講 師 小学校 1・2 年生：山口 弘先生 (小泉小学校)

横田 俊徳先生 (穂積小学校)

小学校 3～6 年生：小野 一豊先生 (東芳小学校)

樽井 佳子先生 (宮城小学校)

☆参加者数 87 人



小学校 1・2 年生向けの様子



小学校 3～6 年生向けの様子

4 資料の収集・展示等

(1) 資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

プラネタリウムの資料収集

プラネタリウムの歴史や構造を理解するのに有益な実物資料について、今年度下表のとおり資料を収集した。

資料名	寄贈元
プラネタリウム投影機 M-2 型投影機 惑星棚	杉並区教育委員会
回転式星座絵投影機	杉並区教育委員会

(2) 資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ（サハラ砂漠）
	石鉄隕石	産地：チリ（アタカマ砂漠）
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	寄贈：国立天文台野辺山宇宙電波観測所
スペースフロンティア	宇宙服（レプリカ）	
	さわれる宇宙服（レプリカ）	所有：日本宇宙少年団
	H-ⅡA ロケット フェアリング	所有：JAXA

宇宙劇場において、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
ホワイエ	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和 45 年～昭和 55 年使用
	プラネタリウム投影機 M-2 型投影機 惑星棚	寄贈：杉並区教育委員会

(3) 資料の解説

展示解説

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

展示解説シート

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

たんけんシート

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

5 教育普及活動

(1) 講演会

星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

第30回星の講演会

<はやぶさ2へのバトン～受け継がれた小惑星探査～>

☆講師 吉川 真 氏 (JAXA 准教授・はやぶさ2 ミッションマネージャ)

☆開催日時 平成28年11月13日(日) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 101人

☆内 容 小惑星探査機「はやぶさ2」のミッションマネージャであるJAXAの吉川真先生にお越しいただき、地球にサンプルを持ち帰った先代「はやぶさ」の成果と「はやぶさ2」の目的などをご紹介いただいた。



開催中の様子



講師の吉川氏への質問の様子

第31回星の講演会

<『やってみる』からはじめよう>

☆講師 岩谷 圭介 氏 (ふうせん宇宙撮影家)

☆開催日時 平成29年2月4日(土) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 141人

☆内 容 風船を使って宇宙から地球の景色を撮影している、ふうせん宇宙撮影家の岩谷圭介さんをお招きして、ふうせん宇宙撮影の魅力と挑戦することの大切さについてご紹介いただいた。



開催中の様子



ふうせん宇宙撮影で撮られた地球の姿

スターレクチャー

<パルサーの不思議～中性子星昆虫館から～>

☆講師 柴田 晋平 氏 (山形大学教授)

☆開催日時 平成 29 年 1 月 28 日 (土) 14 時～15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 16 人

☆内 容 パルサー (中性子星) を専門に研究されている山形大学の柴田晋平先生にお越しいただき、さまざまな種類のパルサーについてご紹介いただいた。



講座の様子



講座の様子

(2) 講座・体験学習・ワークショップ

科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>

第 1 回「おいしさの科学」

☆講師 中村 恵子 氏 (福島大学教授)

☆開催日時 平成 28 年 8 月 21 日 (日) 14 時～16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 3 年生～6 年生

☆参加者数 14 名

☆内 容 いろいろなものの食べ比べによる実験で、舌で感じる味覚だけでなく、見た目や香り、歯ごたえや食感などといった要素や、私たち自身の体調などいろいろな要素が影響して「おいしさ」を感じていることを実験した。また、手づくりアイスクリームを2種類作り、同じ材料でもよく混ぜて作るものと、ほとんど混ぜないで作るものとで食べ比べを行い、「おいしさ」の違いを体験した。



「おいしさの科学」の様子

第2回「バイオ実験を体験しよう!」

☆講 師 杉森 大助 氏(福島大学教授)
 ☆開催日時 平成28年9月10日(土) 14時～15時30分
 ☆開催場所 多目的研修室
 ☆対 象 どなたでも参加可能
 ※小学2年生以下は保護者同伴
 ☆参加者数 22人
 ☆内 容 消化酵素で食材が消化する実験やホタル発光酵素で手の汚れに反応して発光する実験、そして、酵母の力で作られたお酒であるウィスキーを使ったロケット発射実験などを行った。



「バイオ実験を体験しよう!」の様子

第3回「色をとりだし、光をつくる!」

☆講 師 高貝 慶隆 氏(福島大学准教授)
 ☆開催日時 平成28年10月22日(土) 14時～16時
 ☆開催場所 多目的研修室
 ☆対 象 小学3年生～6年生
 ☆参加者数 18人
 ☆内 容 ムラサキキャベツの煮汁を使った酸性・アルカリ性の実験で、身近なレモン汁や炭酸水などの液性を調べる実験を行ったほか、ドライアイスや薬品を入れて色変わりしていく実験を行った。そのほか、紫外線を当てることで蛍光色に光る色素の実験などを行った。



「色をとりだし、光をつくる!」の様子

<日本大学工学部との連携事業>

「金属探知機で宝さがし」

☆講 師 齋藤 明德 氏(日本大学工学部教授)
 ☆開催日時 平成28年9月18日(日)
 14時～15時30分
 ☆開催場所 多目的研修室
 ☆対 象 小学生 ※小学2年生以下は保護者同伴



「金属探知機で宝さがし」の様子

☆参加者数 20 人

☆内 容 100 円ショップなどで販売されている材料を中心に、身近に手に入りやすい材料で、金属を近づけると大きな音をする「金属探知機」を製作した。

「偏光を使った万華鏡を作ろう」

☆講 師 加藤 隆二 氏（日本大学工学部教授）

☆開催日時 平成 28 年 9 月 25 日（日） 14 時～ 15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 3 年生～中学生

☆参加者数 20 人

☆内 容 光や偏光板についての説明ののち、窓から偏光板を通して風景の観察を行った。偏光板の性質をふまえて、偏光板を 2 枚重ねた構造の万華鏡を製作した。



「偏光を使った万華鏡を作ろう」の様子

＜科学技術週間 一家に 1 枚 ポスター解説ミニ講座＞

☆講 師 郡山市ふれあい科学館職員

☆開催日時 平成 28 年 4 月 24 日（日） 11 時～ 11 時 15 分、14 時～ 14 時 15 分

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 25 人

☆内 容 文部科学省で毎年制作している一家に 1 枚ポスターシリーズの 12 作目である「水素」ポスターの解説及び「水素」に関する実験として、水素のシャボン玉で水素の軽さや燃えやすさについての演示実験を行ったほか、燃料電池の実演も行った。



「一家に1枚 ポスター解説ミニ講座」の様子

＜科学ゼミナール「香りの魅力 ～オリジナル香水を作ってみよう～」＞

☆講 師 宇田川 亜希 氏（曾田香料株式会社 調香師）

☆開催日時 平成 29 年 2 月 25 日（土） 13 時 30 分～ 16 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 5 年生～一般

※小学生は保護者同伴

☆参加者数 27 人

☆内 容 曾田香料株式会社と連携し、香りに関する講座を開催した。香りや香水に関する講話や、3 種類の香料を参加者が自由に組み合わせて、オリジナルの香水を製作した。



科学ゼミナール「香りの魅力 ～オリジナル香水を作ってみよう～」の様子

<科学技術へのいざない>

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 平成 28 年 10 月 29 日 (土) 11 時 30 分～ 16 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生～一般

☆参加者数 184 人

☆内 容 「水を利用してエネルギーをためる，身の回りの放射線を測定しよう， α 線って、どんなもの？（東北放射線科学センター），カラフルでキラキラなスーパーボールをつくってみよう，砂のふしぎと液状化，厚紙イヤホンを作って，骨で音を聞いてみよう，凍っちゃうよ～冷たい世界と不思議な超伝導，偏光板を使って万華鏡を作ろう」の実験を行った。科学館のブースでは、「ゆびごま」の工作を行った。



科学技術へのいざない開催の様子

<郡山市希望ヶ丘図書館との連携事業 放課後の科学教室>

平日の放課後に図書館を利用する児童を対象に科学の実験や工作の体験と科学に関する本を紹介する教室を開催した。

☆開催日時 平成 29 年 3 月 7 日 (火)

15 時 30 分～ 17 時

☆開催場所 郡山市希望ヶ丘図書館児童室

☆内 容 「ぶっとびロケット」を製作して、ロケットの仕組みについて学習した。

☆対 象 小学生、幼児とその保護者

☆参加者数 26 人



放課後の科学教室の様子

コズミックカレッジ

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携し小学 1 年生～ 4 年生とその保護者を対象にしたキッズコースを開催した。

☆開催日時 平成 28 年 11 月 6 日 (日) 10 時 30 分～ 15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 1 年生～ 4 年生と保護者

☆講 師 赤間 祐市 氏 (郡山市立永盛小学校教諭 宇宙教育リーダー)

佐野 亮二 氏 (郡山市立郡山第三中学校教諭 宇宙教育リーダー)

梅本 顕史・恵川 司・橋本 宏克 (郡山市ふれあい科学館職員)

☆参加者数 16 組 (30 人)

☆内 容 コズミックカレッジの宇宙教育リーダーの認定を取得した市内の小・中学校の先生が講師となり、宇宙に関する実験・工作教室を行った。今回は、

「月をめざせ！」をメインテーマに「月はどう見える?」「月へ行こう!」「月をたんけんしよう!」という3部構成で、月の形や模様に関する実験・工作、ロケットや月面環境に関する実験工作、そして、月探査の紹介や月面探査車の工作を行い、宇宙への夢を膨らませていただいた。



講師紹介



クレーターを作る実験の様子

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に3期開催した。

<第1期：『星のソムリエ』になりませんか?>

☆開催回数 8回(平成28年5月～11月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上一般

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	平成28年5月25日(水)19時～21時	31人
星座を見つけよう	平成28年6月15日(水)19時～21時	29人
望遠鏡のしくみ	平成28年7月13日(水)19時～21時	26人
望遠鏡を使ってみよう	平成28年8月31日(水)19時～21時	24人
宇宙はどんな世界	平成28年9月21日(水)19時～21時	26人
星空の文化に親しむ	平成28年10月19日(水)19時～21時	21人
星空案内の実際	平成28年11月2日(水)19時～21時	24人
特別講座：講演会及び認定証授与式	平成28年11月13日(日)15時～18時	31人

延べ参加者数 212人

<第2期：「天体の魅力」>

☆開催回数 4回(平成28年12月～平成29年3月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上一般

メニュー	開催日時	参加者数
太陽の魅力	平成28年12月14日(水)19時～21時	33人
恒星の魅力	平成28年1月25日(水)19時～21時	32人
銀河の魅力	平成29年2月15日(水)19時～21時	30人
宇宙の姿の魅力	平成29年3月8日(水)19時～21時	27人

延べ参加者数 122人

<第3期：「星空をめぐる文化」>

☆開催回数 3回(平成29年1月～3月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 高校生以上一般

メニュー	開催日時	参加者数
年中行事と星空	平成29年1月11日(水)19時～21時	29人
ふくしま天文史跡めぐり	平成29年2月1日(水)19時～21時	30人
地上に星空を創る	平成29年3月1日(水)19時～21時	28人

延べ参加者数 87人



天文カレッジ第1期講座の様子



天文カレッジ第2期講座の様子



天文カレッジ第3期講座の様子

星空案内人資格認定制度(星のソムリエ)

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

☆開催期間 平成28年4月～平成29年3月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 26回(うち天文カレッジ内8回)

☆受講者総数 431人

<星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日 平成28年11月13日(日)

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 星空案内人 2 人、星空案内人 (準案内人)18 人
 ☆内 容 資格認定証授与

☆開 催 日 平成 29 年 3 月 12 日 (日)
 ☆開催場所 多目的研修室
 ☆対 象 星空案内人 4 人、星空案内人 (準案内人) 1 人
 ☆内 容 資格認定証授与
 記念講演
 講師：寺 蘭 淳也氏 (会津大学准教授)

天体望遠鏡操作講習会

天体望遠鏡の操作の習熟を図り、天体観察をより幅広く行うことができるよう、操作講習を実施した。

☆開催日時 平成 28 年 8 月 31 日 (水) 19 時～ 21 時
 ☆開催場所 宇宙劇場
 ☆参加者数 24 人
 ☆内 容 天体望遠鏡の組み立て方、観察方法などの実技に関する講習
 (天文カレッジ 第 2 期講座内で実施)

(3) 天体観望会

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
 ☆対 象 一般 (当日自由参加)

開 催 日 時	観望内容	参加者数
平成28年4月16日(土)19時～20時	月・木星など	約 220 人
平成28年5月14日(土)19時30分～20時30分	月・木星など	約 260 人
平成28年6月18日(土)19時30分～20時30分	月・火星など	約 350 人
平成28年7月9日(土)19時30分～20時30分	月・土星など	悪天候のため中止
平成28年8月13日(土)19時～20時	月・土星など	約 100 人
平成28年9月10日(土)18時30分～19時30分	月など	約 120 人
平成28年10月8日(土)18時～19時	月など	悪天候のため中止
平成28年11月5日(土)18時～19時	月など	約 70 人
平成29年3月4日(土)19時～20時	月など	悪天候のため中止

参加者総数 約 1,120 人



駅前観望会の様子



駅前観望会の様子

(4) 企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テ ー マ	展 示 期 間
第4回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	平成28年3月19日(土)～6月30日(木)
新発見 太陽系の姿	平成28年7月2日(土)～8月31日(水)
開館から15年 天文学と宇宙のあゆみ	平成28年9月1日(木)～11月30日(水)
オーロラミュージアム	平成28年12月1日(木)～平成29年2月28日(火)
誕生日の星座たち	平成29年3月1日(水)～4月30日(日)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の作品を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議やコンピュータグラフィックスの楽しさに身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 平成28年4月～平成29年3月(学校長期休業期間を除く。)

☆貸出回数 49回

開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち～」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅、JR貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部などの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。また、開館15周年を記念して、「きかんしゃトーマスとなかまたち」の企画展を実施した。

☆開催日時 平成28年10月8日(土)～10日(月・祝)、
10月12日(水)～16日(日) 10時～17時

☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン及び多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆参加者数 9,540人

☆内 容 (1)「きかんしゃトーマスとなかまたち」企画展

ア レッツゴートーマス

実際に乗車できる「きかんしゃトーマス」を設置し、乗車体験を行った。

イ ファサードトーマス

会場入り口で来館者をお出迎えする車両を設置した。

ウ 迷路ふわふわ

トーマスのなかまたちに出会える迷路を設置し、体験していただいた。

(2) 鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。また、11時、13時、15時、17時からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマシヨースペシャル」を行った。

(3) Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行った。

(4) 工作コーナー

ボランティアの方などの協力により、くるりんパズル作りを行った。

(5) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(6) 特設コーナーイベント

JR 貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部の協力により、鉄道に関する商品やゲームを紹介した。



レッツゴートーマスの様子



プラレールコーナーの様子

開館 15 周年記念 スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」

例年行っているスペースパーク企画展を開館15周年に伴い規模を拡大して、郡山の発展にも関連した鉄道にちなんで「プラレールフェスティバル」を開催した。

☆開催日時 平成28年12月3日(土)～平成29年1月9日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 第1会場：ビッグアイ6階

第2会場：多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆参加者数 16,152 人

☆展示内容 ◇第1会場（ビッグアイ6階）

(1) プラレールタワーゲート

6階会場入口で約20段のプラレールタワーを展示した。

(2) 列車大集合！！

0系新幹線の立体オブジェと、様々な鉄道の正面のイラストを、来場者の記念写真撮影用に展示した。

(3) 新幹線をつなごう！

東北地域を走る新幹線の連結の様子を模型で再現して展示した。

(4) 貨物ターミナル

一定時間で底が開いてしまう貨物コンテナに、荷物に見立てたボールをどれだけ入れられるか、挑戦していただいた。

(5) 走り出せ！蒸気機関車～不思議な写真が撮れるよ～

写真撮影を行うと立体的に映るトリックアートの手法により描いた、蒸気機関車のパネルを展示した。

(6) プラレールジオラマ

プラレールで制作された街にプラレール車両が走り回るジオラマを展示した。

(7) プレイランド

来場者が親子で自由にプラレールで遊ぶことができるコーナーを用意した。

◇第2会場（20階 多目的研修室）

(1) スロットプラレール

様々な新幹線の車両が描かれた3つのドラムを回して、3つのドラムで同じ車両が揃えばクリアとなるアトラクションを展示した。

(2) 車庫入れゲーム

回転する車庫に向けてプラレール車両を走らせると、タイミングによってクリアの車庫か通常の車庫のいずれかに入庫するアトラクションを展示した。

(3) プラレールあみだくじ

プラレールを使ったあみだくじで、複数のレールから好きなレールを選んで車両を走らせると、地下部分のポイントによってクリアの終点か、通常の終点のいずれかに到着するアトラクションを展示した。

(4) レッツゴートーマス

会場内を走る機関車トーマスに乗車できる展示を行った。

(5) トーマスプラレールコーナー

機関車トーマスの世界を再現したジオラマにトーマスなどの車両が

走り回る展示を行った。



開催の様子



開催の様子

ロボットで遊ボット！

ロボット大会等で活躍している福島県立清陵情報高等学校・福島県立郡山北工業高等学校・福島県立白河実業高等学校との連携事業を開催した。

<ロボット展示・操作体験>

福島県立清陵情報高等学校や福島県立郡山北工業高等学校、福島県立白河実業高等学校で製作したロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 平成 29 年 3 月 24 日(金)～4 月 5 日(水) 10 時～17 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 4,172 人

<ロボット工作ワークショップ>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 26 日(日)、4 月 1 日(土) 14 時～16 時

☆開催場所 実験工房

☆対 象 小学 3 年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 36 人(3 月 26 日:20 人、4 月 1 日:19 人)

<スペースパーク春場所 ロボット相撲大会>

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 25 日(土) 11 時～12 時

4 月 2 日(日) 14 時～15 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 32 人(各日 16 人)



ロボット展示・操作体験の様子



ロボット展示・操作体験の様子



ロボット相撲大会の様子



ロボット工作ワークショップの様子

科学技術の「美」パネル展

科学技術団体連合が研究者から公募した、さまざまな研究の過程や成果などで生まれた「美しい現象」や「見たことのない」画像のパネル展を開催した。

☆開催期間 平成 29 年 1 月 28 日 (土) ～
2 月 26 日 (日)

☆開催場所 展望ロビー



科学技術の「美」パネル展開催の様子

(5) 学習支援

天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆実施期間 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参 加 校 福島県立安積高等学校、福島県立郡山高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
平成28年6月21日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	交流会の話、星空の紹介	6人

平成28年7月12日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	星図の使い方、ペルセウス座流星群の紹介	10人
平成28年9月6日(火)	パソコン工房	天文シミュレーションソフト「Mitaka」の紹介	9人
平成28年10月25日(火)	多目的研修室	望遠鏡の使い方	6人
平成28年11月5日(土)	郡山駅西口駅前広場	天体観望会	0人

参加者総数 31人

科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。また、理科教材の企画立案への助言を行った。

(6) アウトリーチ事業（出前講座）

星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	平成28年4月30日(土) 19時～20時30分	片平公民館	片平公民館	約20人	ベテルギウス・カペラの観察、星の見方の紹介など
第2回	平成28年5月21日(土) 19時～20時30分	名倉 地域公民館	名倉 地域公民館	約150人	月・火星・木星の観察、星の見方の紹介など
第3回	平成28年6月11日(土) 19時30分～21時	薫 地域公民館	薫 地域公民館	約80人	月・火星・木星・土星の観察、星の見方の紹介など
第4回	平成28年7月10日(日) 19時30分～21時	富田公民館	富田公民館	約90人	火星・木星・土星の観察、星の見方の紹介など
第5回	平成28年9月3日(土) 19時～20時30分	小山田 地域公民館	小山田 地域公民館	約30人	望遠鏡の見え方、月パズルなど
第6回	平成28年9月17日(土) 18時30分～20時	少年湖畔の村	少年湖畔の村	約30人	月の紹介、風船ロケット工作など
第7回	平成28年10月15日(土) 18時～19時30分	日和田公民館	日和田公民館	約20人	月・金星・火星・土星の観察、星座探しなど
第8回	平成28年11月12日(土) 18時～19時30分	田村公民館	田村公民館	約30人	月・金星・火星の観察、星座探しなど

参加者総数 約450人



星の宅配便の様子



星の宅配便の様子

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	平成28年5月26日(木) 13時20分～14時25分	桃見台小学校	92 人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第2回	平成28年6月21日(火) 13時40分～14時50分	薫小学校	124 人	「ぶつとびロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第3回	平成28年7月7日(木) 13時40分～14時50分	芳山小学校	50 人	「種! タネ! たね」を親子で製作し、実験を行った。
第4回	平成28年9月7日(水) 14時40分～15時40分	喜久田小学校	22 人	偏光万華鏡とスイ〜ットレイを科学クラブ活動で製作し、実験を行った。
第5回	平成28年10月20日(木) 14時40分～15時40分	日和田小学校	180 人	「風船ロケット」を親子で製作し、実験を行った。
第6回	平成28年11月15日(火) 13時50分～14時35分	高野小学校	50 人	「へびダンス」を親子で製作し、実験を行った。

参加者総数 518 人



科学の宅配便の様子



科学の宅配便の様子

講師派遣

各種機関や公共施設などの団体からの依頼に応じて、当館の職員を講師として派遣した。

<郡山市あさかの学園大学の授業>

- ☆派遣日時 平成 28 年 4 月 27 日(水)、4 月 28 日(木)、5 月 13 日(金)
10 時 10 分～12 時
- ☆派遣場所 郡山市ふれあい科学館

<宇宙少年団こおりやま分団>

- ☆派遣日時 平成 28 年 9 月 24 日(土) 9 時 00 分～12 時
- ☆派遣場所 郡山市ふれあい科学館

<大安場史跡公園市民参加型事業「古墳でお月見」>

- ☆派遣日時 平成 28 年 11 月 12 日(土) 18 時 30 分～20 時
- ☆派遣場所 大安場史跡公園

<教員のための科学教室>

- ☆派遣日時 平成 29 年 1 月 31 日(火) 15 時 00 分～16 時 30 分
- ☆派遣場所 郡山市立芳賀小学校

ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行った。

<ふくしま森の科学体験センター 15 周年記念事業>

- ☆開催日時 平成 28 年 10 月 16 日(日) 9 時 30 分～16 時
- ☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

<サイエンス屋台村 in コミュタン福島 2016>

- ☆開催日時 平成 28 年 11 月 26 日(土) 9 時 30 分～15 時 00 分
- ☆開催場所 福島県環境創造センター交流棟(コミュタン福島)

(7) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じて天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催した。

- ☆開催回数 7 回(平成 28 年 5 月～平成 29 年 2 月)
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆対 象 小学 3 年生～中学 3 年生

☆クラブ員 30 人

メニュー	開催日時	参加者数
みんなでスタート！ 星空観察	平成28年6月11日(土)18時30分～20時	64 人(保護者を含む。)
宇宙ひとめぐり ～展示ゾーンスペシャル ガイドツアー～	平成28年7月9日(土)9時45分～11時45分	27 人
天体観望会 ～月を見てみよう～	平成28年9月10日(土)18時30分～20時	61 人(保護者を含む。)
プラネタリウムをつくろう	平成28年10月22日(土)9時45分～11時45分	19 人
いろいろな天体を知ろう！	平成28年11月12日(土)9時45分～11時45分	21 人
今年の天文・宇宙ニュース	平成29年1月14日(土)9時45分～11時45分	27 人
実験で宇宙を見よう	平成29年2月11日(土)9時45分～11時45分	20 人

延べ参加者数 239 人



天体観望会の活動の様子



プラネタリウム作りの様子

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時

☆開催回数 7回(平成28年6月～平成29年2月)

☆開催場所 実験工房

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 50人(Aクラス：25人、Bクラス：25人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
いろいろなプラスチック	A	平成28年6月11日(土)	22 人
	B	平成28年6月25日(土)	21 人

暑さに負けるな!太陽のひみつ	A	平成 28 年 7 月 9 日(土)	23 人
	B	平成 28 年 8 月 27 日(土)	18 人
浮き沈みの科学	A	平成 28 年 9 月 10 日(土)	16 人
	B	平成 28 年 9 月 24 日(土)	17 人
カラフルサイエンス	A	平成 28 年 10 月 22 日(土)	17 人
	B	平成 28 年 10 月 29 日(土)	12 人
カタチの科学	A	平成 28 年 11 月 12 日(土)	18 人
	B	平成 28 年 11 月 26 日(土)	16 人
光と影の不思議	A	平成 28 年 12 月 10 日(土)	18 人
	B	平成 29 年 1 月 28 日(土)	16 人
あったかい科学	A	平成 29 年 2 月 11 日(土)	19 人
	B	平成 29 年 2 月 25 日(土)	16 人

延べ参加者数 249 人



いろいろなプラスチックの様子



光と影の不思議の様子

科学情報クラブ

コンピュータを使い、写真加工、動画編集、ロボット製作などを、楽しみながら学ぶことのできるクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第1・第3土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回(平成28年6月～平成29年2月)

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 32人(Aクラス:16人、Bクラス:16人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
プラ板キーホルダーを作ろう	A	平成 28 年 6 月 4 日(土)	16 人
	B	平成 28 年 6 月 18 日(土)	13 人

オリジナルTシャツを作ろう	A	平成 28 年 7 月 2 日 (土)	15 人
	B	平成 28 年 7 月 3 日 (日)	13 人
ロボットを作ろう	A	平成 28 年 9 月 3 日 (土)	13 人
	B	平成 28 年 9 月 17 日 (土)	12 人
ペン立てを作ろう	A	平成 28 年 11 月 5 日 (土)	12 人
	B	平成 28 年 11 月 19 日 (土)	14 人
コンピュータミュージックを作ろう	A	平成 28 年 12 月 3 日 (土)	13 人
	B	平成 28 年 12 月 17 日 (土)	12 人
DVDを作ろう	A	平成 29 年 1 月 14 日 (土)	14 人
	B	平成 29 年 1 月 21 日 (土)	11 人
アルバムを作ろう	A	平成 29 年 2 月 4 日 (土)	14 人
	B	平成 29 年 2 月 18 日 (土)	16 人

延べ参加者数 188 人



「オリジナルTシャツを作ろう」の様子



「ロボットを作ろう」の様子

(8) 作品募集

第 16 回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図った。

☆テ ー マ 宇宙オリンピック

☆募集締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金)

☆応募作品 静止画部門 小学生以下の部 169 点 中学生の部 67 点 一般 (高校生以上) の部 17 点

動画部門 5 点

☆審査委員 上石 直美氏 (郡山市立緑ヶ丘中学校 教諭)

新井 浩氏 (福島大学 教授)

伊藤 峰洋氏 (有限会社峰洋デザイン代表)

内田 章氏 (学校法人新潟総合学院 FSG カレッジリーグ事業企画部
新環境事業室長)

角井 勇三氏 (郡山市教育委員会 教育研修センター 指導主事)

菅野 洋人氏 (郡山市立美術館 主任主査)

西村 憲氏 (会津大学 上級准教授)

本田 文一氏 (福島県立清陵情報高等学校 教諭)

市川 正道 (郡山市ふれあい科学館長)

☆展示期間 平成 28 年 11 月 5 日 (土) ～平成 29 年 1 月 9 日 (月・祝)

※表彰式：平成 28 年 11 月 20 日 (日) 10 時 30 分～ 11 時

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品 < 静止画部門【大賞】館長賞 >

「夏の惑星宇宙人とバスケットボール」

田中 翔さん (郡山市立芳山小学校 5 年生)

< 静止画部門【準賞】スペースパーク賞 >

「たまには皆で競いたい !!」

吉田 真実さん (福島県立清陵情報高等学校 3 年生)

「宇宙で棒高跳び」

橋本 采佳さん (郡山市立郡山第二中学校 2 年生)

< 静止画部門 小学生以下の部 優秀賞 >

「うちゅうスイミング」

長田 満里奈さん (郡山市立行健第二小学校 4 年生)

「東京オリンピック日本がんばれ」

大和田 樹李さん (郡山市立御館小学校 6 年生)

「種目 いん石投げ」

石井 志実さん (郡山市立小山田小学校 3 年生)

< 静止画部門 中学生の部 優秀賞 >

「Space Fencing」

山田 空良さん (郡山市立郡山第二中学校 3 年生)

「宇宙でも柔道」

國分 瑚楠さん (郡山市立郡山第二中学校 3 年生)

「宇宙オリンピック IN カヌー」

栗原 悠宇さん (郡山市立郡山第二中学校 2 年生)

< 静止画部門 一般 (高校生以上) の部 優秀賞 >

「空間・時間・次元を超えた未知の競技会」

江尻 誠さん (一般)

「金メダルを掴みとれ !」

仲井 ひかるさん (国際アート & デザイン専門学校 1 年生)

「土星陸上」

三瓶 奈々子さん (国際アート & デザイン専門学校 1 年生)

<動画部門【大賞】館長賞>

「あたんねーのかよ！！」

上田 永翔さん(郡山市立郡山第二中学校3年生)

<動画部門【準賞】スペースパーク賞>

「人間 vs 宇宙人」

遠藤 明子さん(国際アート&デザイン専門学校2年生)

「宇宙冬季オリンピック」

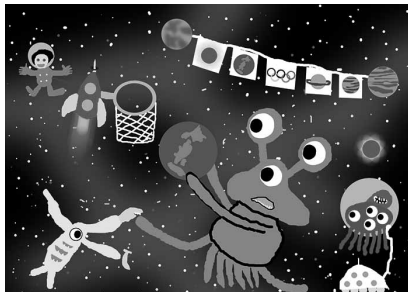
熊田 慎さん(国際アート&デザイン専門学校2年生)

<学校賞>

郡山市立御館小学校(応募数14点)

郡山市立郡山第二中学校(応募数26点)

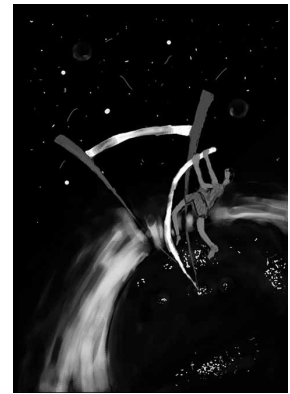
国際アート&デザイン専門学校(応募数16点)



静止画部門【大賞】館長賞
「夏の惑星宇宙人とバスケットボール」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞
「たまには皆で競いたい!!」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞
「宇宙で棒高跳び」

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

<第4回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト 作品展示>

☆展示期間 平成28年3月19日(土)～6月30日(金)

☆展示場所 23階ホワイエ

☆内 容 第4回コンテスト選出写真37点

<ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

郡山市役所展

☆展示期間 平成28年9月1日(木)～10月28日(金)

☆展示場所 郡山市役所本庁舎2階 壁面アートスペース (郡山市)

☆主催共催 郡山市ふれあい科学館

☆内 容 第1回～第4回コンテスト選出作品の大賞・特別賞選出作品等57点

三鷹「科学キッズフェス！」展

- ☆展示期間 平成 28 年 10 月 15 日 (土)
- ☆展示場所 三鷹市公会堂 (東京都三鷹市)
- ☆主催共催 5 市共同事業実行委員会
(三鷹市、武蔵野市、小金井市、国分寺市、国立市)
- ☆内 容 第 4 回コンテスト選出作品の大賞・特別賞選出作品等 12 点

中野展

- ☆展示期間 平成 28 年 11 月 18 日 (金)～平成 29 年 1 月 14 日 (土)
- ☆展示場所 ケンコー・トキナー ミニギャラリー (東京都中野区)
- ☆主催共催 株式会社ケンコー・トキナー
- ☆内 容 第 4 回コンテスト選出写真 37 点

三鷹「天文・科学情報スペース」展

- ☆展示期間 平成 29 年 3 月 3 日 (金)～4 月 23 日 (日)
- ☆展示場所 三鷹天文・科学情報スペース (東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹天文・科学情報スペース
- ☆内 容 第 1 回～第 4 回コンテスト選出作品の大賞・特別賞選出作品等 15 点
※ 3/19 に渡部潤一氏とトークショーを実施

いわき展

- ☆展示期間 平成 29 年 3 月 4 日 (土)～31 日 (金)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー (いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 第 4 回コンテスト選出写真 37 点

「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部についての募集から審査までを共催で実施し、入選作品の展示会を開催した。

- ☆主 催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、リモート・センシング技術センター、日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館 (公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)
- ☆後 援 内閣府宇宙戦略推進事務局
- ☆メディアパートナー 朝日新聞デジタル
- ☆テ ー マ 宇宙とわたし
- ☆部 門 小学生部門、中学生部門
- ☆募集期間 平成 28 年 5 月～7 月 31 日 (日)
- ☆応募作品 543 点 (小学生部門：496 点、中学生部門：47 点)

☆審査員 渡部 章華 氏（郡山市立大成小学校教諭）

原田 裕也 氏（郡山市立富田中学校教諭）

<表彰式>

☆開催日時 平成 28 年 9 月 11 日（日） 11 時～ 11 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

<受賞作品展>

各部門で受賞した作品を 22 階展望ロビーに展示した。

☆展示期間 平成 28 年 9 月 11 日（日）～ 9 月 25 日（日）

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品

<小学生部門【最優秀賞】>

宗像 慧さん（郡山市立富田東小学校 3 年）

<小学生部門【優秀賞】>

橋本 朋佳さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校 5 年）

鈴木 結衣さん（いわき市立和泉北小学校 5 年）

<小学生部門【佳作】>

矢内 文香さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校 5 年）

遠藤 穂奈実さん（郡山市立御館小学校 4 年）

阿部 健太朗さん（郡山市立富田東小学校 1 年）

<中学生部門【最優秀賞】>

今泉 友佳さん（郡山市立第二中学校 2 年）

<中学生部門【優秀賞】>

加藤 奈々子さん（郡山市立緑ヶ丘中学校 2 年）

早津 遥羽さん（郡山市立緑ヶ丘中学校 2 年）

<中学生部門【佳作】>

浅井 陽向さん（郡山市立第五中学校 2 年）

鳴戸 萌絵さん（郡山市立第五中学校 2 年）

堀内 恵さん（郡山市立小原田中学校 2 年）



小学生部門【最優秀賞】
宗像 慧さん



中学生部門【最優秀賞】
今泉 友佳さん



表彰式後の記念撮影

(9) 社会的弱者に配慮した事業

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。(字幕作成協力：郡山市要約筆記サークル)

☆ 開催日時 平成 28 年 6 月 25 日(土) 12 時 30 分～13 時 15 分

☆ 内 容 プラネタリウム一般番組「宇宙ステーションへの旅」

☆ 観覧者数 73 人

☆ 開催日時 平成 29 年 3 月 26 日(日) 11 時 40 分～12 時 25 分

☆ 内 容 プラネタリウム一般番組「オーロラ旅行」

☆ 観覧者数 90 人

(10) 出版

科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルト、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学館案内&募集コーナー等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、市町村教育委員会や学校等教育施設などに配付した。

☆A 4 カラー 8 ページ 59 号～62 号(年間 4 回)

☆発行部数：10,000 部 / 各号

(11) 情報発信

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年 5 回発行した。

☆構成：A 4 カラー 4 ページ

☆発行総数：425,000 部

学校・団体利用の手引き

小学校や中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、冊子にまとめ、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図った。

☆構成：A 4 白黒 28 ページ

☆発行部数：5,000 部

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数：261 回

☆参照回数：278,326 回

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数：12 回

☆配 信 先：901 か所（平成 29 年 3 月現在）

テレビ、新聞等による情報発信

夏休みイベント及び春休みイベントの告知を行うため、夏休み期間及び春休み期間にテレビ広告を行った。また、年末年始の誘客を図るため、新聞広告を行った。そのほかタウン誌、フリーペーパー、観光雑誌、子育て情報誌などへ積極的に記事の投稿を行い、情報発信に努めた。

6 調査・研究・発表

(1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。また、当館の活動事例の発表も行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 28 年6月6日～8日	全国プラネタリウム大会・釧路 2016 (釧路市こども遊学館・釧路市交流プラザさいわい)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査および当館の事例発表
平成 28 年8月 21 日 ～ 23 日	第 30 回天文教育研究会 (東北大学)	当館における天文事業の事例発表
平成 28 年9月5日	第 20 回デジタルプラネタリウム ワークショップ (東京未来大学)	プラネタリウムにおける映像制作に関する調査
平成 28 年9月 14 日 ～ 16 日	日本天文学会 2016 秋季年会 (愛媛大学城北キャンパス)	最新の天文学に関する情報収集及び運営に関する調査
平成 28 年3月2日～3日	Data To Dome Workshop (国立天文台三鷹キャンパス)	プラネタリウムにおける映像制作に関する調査

(2) 天文関連先進館調査

プラネタリウム投映などの最新の天文関連活動のありかたを調査し、事業の企画及び内容の充実を図るための調査研究を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年2月 14 日 ～ 15 日	いしかわ子ども交流センター及び セーレンプラネット	プラネタリウム解説手法及び天文事業に関する研修

(3) 天文関連最新情報調査

プラネタリウム投映における最新の技術や手法の情報を入手し、新たな教育普及活動の可能性を調査研究した。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 28 年 11 月 16 日 ～ 18 日	JGSS フィルムフェスティバル 2016 (ソフィア・堺、ユナイテッド・シネマ岸和田)	最新のドーム映像作品に関する調査
平成 29 年2月 13 日	JPA 北陸プラネタリウムワーキング グループ平成 28 年度第2回研修 会	プラネタリウム解説手法及び天文事業に関する情報収集
平成 29 年3月5日 ～7日	第7回国際科学映像祭ドームフェ スタ (ギャラクシティ)	プラネタリウム番組制作手法に関する調査

(4) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、協議会・学術会議などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 28 年 11 月 15 日 ～ 16 日	全国科学館連携協議会 平成 28 年度 第1回 国内研修 (ふくい県民活動・ボランティアセンター、福井県児童科学館)	全国の科学館に関する情報収集及び施設視察
平成 28 年 11 月 17 日 ～ 18 日	全国科学館連携協議会 平成 28 年度第 1 回東北ブロック会議研修会) (郡山市ふれあい科学館)	東北地域の科学館に関する情報収集、ワークショップに関する事例発表及び調査
平成 29 年2月9日 ～ 10 日	全国科学館連携協議会 平成 28 年度 第2回 国内研修 (姫路科学館)	全国の科学館に関する情報収集及び施設視察
平成 29 年2月16日 ～ 17 日	平成 28 年度第2回全国科学博物館協議会総会及び第 24 回研究発表大会 (京都鉄道博物館)	全国の科学博物館に関する情報収集及び施設視察

(5) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業が出展する展示会の視察を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 28 年6月 30 日	先端コンテンツ技術展 (東京ビッグサイト)	映像・音響・VR などの展示手法への利用について、全国の企業が出展する展示会の視察

(6) 展示系学術発表

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、当館のサイエンスショーや工作ワークショップ等の運営や実施担当者の技術向上を図るため、サイエンスショーや工作ワークショップ等の名人が全国から集まる大会の視察を行った。

調 査 日	調 査 先	内 容
平成 29 年2月5日	第 24 回日立サイエンスショーフェスティバル (日立シビックセンター)	全国の実験名人によるサイエンスショーの実演を視察

7 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。ギアボックスを用いた歩く動物やマックスウェルのコマなどの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月1回 日曜日（平成28年5月～平成29年2月）10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 10回

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 31人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、
小野 一豊氏

☆内 容 ギアボックスを用いた歩く動物、
マックスウェルのコマ、簡単モーターなど



クラブ活動の様子

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動が続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 平成28年4月～平成29年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 天体望遠鏡工作、天体観測など

※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した。

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し情報交換や科学普及のイベントを行った。

<第1回運営協議会>

☆開催日時 平成28年6月1日（水） 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

<第1回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 平成28年7月7日（木） 15時～17時

☆開催場所 福島県農業総合センター

<第2回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 平成28年9月14日（水） 15時～17時

☆開催場所 福島県環境創造センター 交流棟（コミュニティ福島）

<第2回運営協議会>

☆開催日時 平成29年2月24日（金） 15時～17時

☆開催場所 コワーキングスペース コオリヤマ

こどもまつり

郡山市から第51回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営についての協力要請があり、ミューカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力した。

☆開催日時 平成28年5月5日（木）こどもの日 10時～15時

☆開催場所 ミューカルがくと館 2階観測室及び練習室

☆活動内容 天体望遠鏡での天体観測と科学工作（ふうせんロケット、簡易分光器）

（2）ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会（略称：S.P.V）」が発足し、今年度13年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



<スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

募集スケジュール

募 集 期 間	登録前オリエンテーション	ボランティア研修
平成28年3月1日(火)～4月30日(土)	平成28年5月22日(日)	平成28年6月12日(日)

※登録前オリエンテーション

応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催した。

※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催した。



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

<登録状況>

☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	17人	33人	35人	85人
平成 28 年度登録者	1人	5人	2人	8人
合 計	18人	38人	37人	93人

☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	45人	40人	44人	35人	6人	77人	7人	1人
平成 28 年度登録者	3人	5人	1人	5人	2人	7人	1人	0人
合 計	48人	45人	45人	40人	8人	84人	8人	1人

☆年代別

年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人 数	3人	11人	6人	6人	18人	34人	12人	3人

※ 80 代は、90 代含む

<ボランティア活動>

○案内グループボランティア

☆活動日時 平日：午前の部（9 時 30 分～ 13 時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9 時 30 分～ 13 時）

午後の部（12 時 30 分～ 16 時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 374 時間

☆延べ活動人数 115 人

○科学グループボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）
午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 1,540 時間

☆延べ活動人数 443 人

○天文グループボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 151 時間

☆延べ活動人数 71 人

<出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

事業名	開催日時	開催場所	参加人数	内 容
郡山市こどもまつり	平成28年5月5日(木) 10時～14時	ミューカルがくと 館、開成山陸上競 技場会議室	—	天文工作
三春町熊耳 仮設住宅集会場	平成28年6月25日(土) 13時30分～16時30分	三春町熊耳 仮設住宅	約 20 人	科学工作
郡山なかまち夢通り わくわくフェスタ	平成28年7月3日(日) 10時～16時	なかまち夢通り	—	科学工作紙芝居
高瀬公民館 チャレンジ教室	平成28年7月9日(土) 9時30分～11時30分	高瀬公民館	40 人	科学工作
星空観察	平成28年7月23日(土) 19時～20時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 20 人	天体観望会
星空観察	平成28年7月30日(土) 19時30分～21時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 85 人	天体観望会
産業技術総合研究所 福島再生可能エネ ルギー研究所一般公開	平成28年7月30日(土) 9時30分～16時	産業技術総合研究 所福島再生可能エ ネルギー研究所	—	科学工作
星空観察会	平成28年7月31日(日) 19時～20時30分	三穂田公民館	約 25 人	天体観望会
星空観察	平成28年8月6日(土) 18時30分～20時30分	須賀川市中央公 民館	約 20 人	天体観望会
星空観察	平成28年8月6日(土) 19時30分～21時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 60 人	天体観望会
星空観察	平成28年8月27日(土) 19時30分～21時30分	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 20 人	天体観望会
ボーイング STEM プ ログラム IN ふくしま	平成28年9月24日(土) 10時～15時	ハイテックプラザ	—	科学工作

自主研修	平成28年10月8日(土) ～9日(日) 17時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 10 人	天体観望会
大成なかよしクラブ	平成28年10月15日(土) 10時～12時	大成地域公民館	30 人	科学工作
安積地区 市民文化祭	平成28年10月22日(土) 10時～15時30分	安積総合学習セン ター	—	科学工作
郡山なかまち夢通り 「ウィンターフェステ ィバル2016」	平成28年11月6日(日) 10時～16時	なかまち夢通り	—	科学工作天文工作 紙芝居
こども 暮れのつどい	平成28年12月4日(日) 9時30分～13時	安積総合学習セン ター	—	科学工作
熱海地区 三世代交流会	平成29年1月7日(土) 10時～13時	熱海公民館	—	科学工作
自主研修	平成29年1月21日(土) 14時～16時	郡山市ふれあい 科学館	—	望遠鏡 メンテナンス

<自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表した。

☆開催日時 平成 29 年 3 月 18 日 (土) ・ 19 日 (日) 10 時 ～ 16 時

☆開催場所 22 階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 昔なつかし紙芝居、昔遊び体験

科学グループ ホバークラフト工作

天文グループ 星座早見盤づくり、望遠鏡観察



昔遊び体験（案内グループ）



ホバークラフト工作（科学グループ）



星座早見盤づくり（天文グループ）

<館事業サポート活動>

○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウィーク）

科学グループ

☆開催日 平成28年5月3日（火・祝）～5日（木・祝）

☆メニュー イリュージョンカード

○サイエンスフェスティバル パートⅡ（夏休み）

科学グループ

☆開催日 平成28年8月11日（木）～14日（日）

☆メニュー UV ちょうちょう、コケコッココップ

○開館15周年記念イベント

科学グループ

☆開催日 平成28年10月1日（土）～2日（日）

☆メニュー ペーパーサンバイザー

各グループ共通

☆開催日 平成28年10月1日（土）～2日（日）

☆「トリックアート展」来館者対応

○鉄道フェスティバル

☆開催日 平成28年10月8日（土）～10日（月・祝） 15日（土）・16日（日）

科学グループ

☆メニュー くるりんパズル

案内グループ

☆内容 来館者への案内・会員所有の旧国鉄・JR関連の鉄道資料の展示、説明
鉄道ジオラマショーの解説

<科学館の事業における天体観望会等>

○駅前観望会

☆開催回数 9回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

☆開催回数 8回

☆開催場所 市内公民館

☆内容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

☆開催回数 2回

☆開催場所 大安場史跡公園・ミューカルがくと館

☆内 容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

<科学グループ研修>

○第 16 回 科学ボランティアツアー（自主研修）

☆開催日 平成 28 年 5 月 15 日（日）

☆開催場所 アクアマリン淡水魚館、野口英世記念館、猪苗代環境センター

☆参加者数 10 人

○第 17 回 科学ボランティアツアー（自主研修）

☆開催日 平成 28 年 9 月 4 日（日）

☆開催場所 福島県環境創造センター（コミュタンふくしま）、三春ダム、
ハーブガーデン、高柴デコ屋敷

☆参加者数 16 人

<科学グループ自主勉強会>

○第 13 回 科学ボランティア勉強会

☆開催日 平成 28 年 7 月 10 日（日）

☆テーマ 「水環境と猪苗代」、「立体パズル」

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 15 人

○第 14 回 科学ボランティア勉強会

☆開催日 平成 29 年 1 月 15 日（日）

☆テーマ 「健康情報の読み解き方」

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 18 人

<天文グループ自主研修会>

○天体観望会

☆開催日 平成 28 年 10 月 8 日（土）・9 日（日）

☆開催場所 小野町緑とのふれあいの森公園

☆参加者数 10 人

○望遠鏡メンテナンス

☆開催日 平成 29 年 1 月 21 日（土）

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 9 人

<平成 28 年度総会>

平成 28 年度活動報告、役員選出案、平成 29 年度活動計画案を審議し、満場一致で承認した。また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行った。今年度は、2 人が受賞した。

☆開催日時 平成 29 年 3 月 5 日（日） 13 時 30 分～14 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 77 人（委任状含む。）

<記念講演会>

☆開催日 平成 29 年 3 月 5 日（日）

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 31 人

☆内 容 「猪苗代湖水質日本一復活目指して～ボランティア参加のお誘い～」
NPO 法人輝く猪苗代湖を作る県民会議 理事長 日本大学名誉教授
中村玄正氏



総会の様子



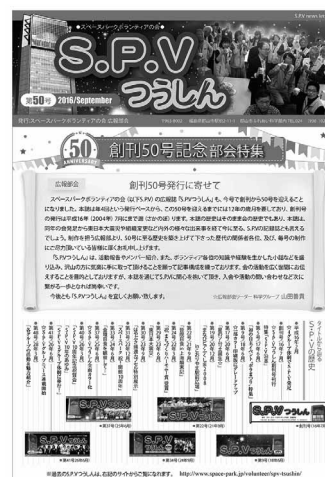
記念講演会の様子

< S.P.V 広報活動 >

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.V の活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S.P.V つうしん」を年 4 回発行した。



S.P.V つうしん第 49 号



S.P.V つうしん第 50 号



S.P.V. つうしん第 51 号



S.P.V. つうしん第 52 号

(3) 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 平成 28 年 9 月 1 日 (木) ~ 8 日 (木)

※ 5 日 (月) を除く 7 日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実 習 生 5 人

郡山女子大学短期大学部文化学科：2 人

神奈川工科大学情報学部情報ネットワークコミュニケーション学科：1 人

大正大学人間学部人間学科：1 人

東京農業大学農学部農学科：1 人



博物館実習の様子

実 習 日	実 習 内 容
平成28年9月1日(木)	開講式、実習説明、展示見学、番組見学、接遇研修、宇宙劇場機器説明
2日(金)	団体対応実習、展示実習、番組見学、クラブ活動対応準備
3日(土)	展示実習、館内対応・クラブ活動対応実習、劇場実習
4日(日)	展示実習、番組見学催し物対応実習
5日(月)	休館日
6日(火)	展示実習発表準備、同発表
7日(水)	宇宙劇場実習準備、同解説練習

8日(木)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式
-------	--------------------------------

(4) インターンシップ（就業体験）受入れ

大学インターンシップ

大学の正規授業であるインターンシップ（就業体験）の学生を研修生として受け入れ、科学館における就業体験を通して、地域の人間育成のためのキャリア教育に貢献するための研修を行う。

☆平成 28 年度は、希望者無しのため実施せず。

中学校職場体験

中学校 2 年生の正規授業である職場体験学習の学生を研修生として受け入れ、科学館における実際の仕事を体験することで、働くことの苦勞や喜びを実感し、職業への興味・関心を高める教育に貢献するための研修を行う。

<郡山市立郡山第三中学校職場体験学習>

☆開催日 平成 28 年 7 月 1 日（金）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 3 人

<郡山市立郡山第一中学校職場体験学習>

☆開催日 平成 28 年 11 月 9 日（水）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 5 人

Ⅲ 平成 28 年度広報・サービス活動

1 広報 P R 活動

(1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、テレビスポットを中心とした広報戦略活動を展開した。

テレビスポット

☆期間等 平成 28 年 7 月 16 日～8 月 16 日

福島中央テレビ・福島放送、15 秒スポット計 57 本

☆内 容 夏休みドーム映像番組「ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ」

☆期間等 平成 28 年 9 月 22 日～10 月 2 日

福島放送・テレビユー福島、15 秒スポット計 40 本

☆内 容 開館 15 周年記念イベント

☆期間等 平成 28 年 10 月 5 日～15 日 福島放送、15 秒スポット計 30 本

☆内 容 開館 15 周年記念事業 鉄道の日 鉄道フェスティバル

☆期間等 平成 28 年 12 月 3 日～平成 29 年 1 月 8 日

福島中央テレビ・福島放送、15 秒スポット計 49 本

☆内 容 冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」・
スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」

☆期間等 平成 29 年 3 月 11 日～26 日 福島放送、15 秒スポット計 20 本

☆内 容 春のドーム映像番組

「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」「planetarian」

新聞広告

☆掲載日等 平成 29 年 1 月 3 日・7 日 朝日新聞

☆内 容 冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」・スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」

(2) 広報紙及び雑誌・看板等

広報紙を県内各地に配布したほか、市の広報紙「広報こおりやま」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

また、ビル入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提

供し、科学館のPRに努めた。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内 (118) 市外 (353)
小学校	市内 (58)、市外 (394)
中学校	市内 (29)、市外 (201)
特別支援学校	県内 (23)
公民館	市内 (40)、市外 (77)
関係機関・道の駅など	市内 (107)、市外 (76)

2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を県内外に広く紹介するため、特に県内小中学校や県外旅行代理店をきめ細かく訪問し、来館者の底辺の拡大を図るための営業活動を積極的に展開した。

営 業 訪 問 先	
幼稚園・保育所	市内 (13)、市外 (43)
小学校	市内 (58)、市外 (58)
中学校	市内 (29)、市外 (32)
市町村教育委員会	市外 (8)
市町村公民館	市外 (26)、県外 (10)
旅行代理店・観光施設	県外 (18)
ホテル・商店・病院など	ホテル (20)、観光業者 (5)、商店 (15)、病院 (4)、その他 (20)

Ⅳ 平成 29 年度事業活動計画

1 宇宙劇場運営

(1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分

曜日／回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平 日	10 時 15 分	11 時 30 分	14 時	15 時 30 分		19 時 (※)
土曜・日曜・祝日	11 時	12 時 30 分	14 時	15 時 30 分	17 時	19 時 (※)

※金曜日のみ投映

※夏休み期間及び冬期間は別途番組開始時刻を定め実施

プラネタリウム 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
オーロラ旅行	平成29年4月1日(土)～4月30日(日)
いちばん身近な星 ～太陽の姿～	平成29年5月2日(火)～6月30日(金)
地球誕生 46 億年の旅	平成29年7月1日(土)～8月31日(木)
ブラックホールが見える?!	平成29年9月1日(金)～10月31日(火)
宇宙のアート ～天体めぐり～	平成29年11月1日(水)～12月30日(土)
星々の物語 ～星座の世界～	平成30年1月2日(火)～2月28日(水)
宇宙はじまりの物語 ～ビッグバン～	平成30年3月1日(木)～3月31日(土)

キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人が一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により投映回は

異なる。)

番組タイトル	投 映 期 間
ほしのせかいりょこう	平成29年4月1日(土)～5月28日(日) ※5月3日(水)～7日(日)を除く
星空めぐりと星の物語「おたすけじぞう」	平成29年5月3日(水)～7日(日)
たなばたの星	平成29年6月3日(土)～7月31日(月)
月たんけん・天の川たんけん	平成29年8月1日(火)～9月30日(土)
ほしのものがたり 「ほしをつかまえたおうじ」	平成29年10月1日(日)～11月26日(日)
こどもの星たち	平成29年12月2日(土)～平成30年1月28日(日)
みづかなうちゅうのおはなし 「ほしみるおじさん」と星空めぐり	平成30年2月3日(土)～3月31日(土)

ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を夏休み期間、冬の期間及び春期間に投映する。

投映時間：夏休み期間(7/15～8/24)の第1・3・5回目、冬期間(12/2～1/8)、春期間(3/3～31)の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目

番組タイトル	上 映 期 間
ティラノサウルス 最強恐竜進化の謎	平成29年7月15日(土)～8月24日(木)
ノーマン・ザ・スノーマン ～北の国のオーロラ～	平成29年12月2日(土)～平成30年1月8日(月)
「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」	平成30年3月3日(土)～3月31日(土)

イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

番組タイトル	投 映 日
星空ライブ60 ～春の星空編～	平成29年5月6日(土)
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム!～	平成29年8月3日(木)～5日(土)
星空ライブ60 ～夏休みスペシャル～	平成29年8月8日(火)～10日(木)
伝統的七夕	平成29年8月26日(土)・27日(日)
十五夜の月	平成29年9月30日(土)・10月1日(日)

星空ライブ 60 ～秋の星空編～	平成29年10月14日(土)
スターリークリスマス	平成29年12月23日(土)～25日(月)
星空ライブ 60 ～冬の星空編～	平成30年1月6日(土)
アラスカからオーロラ生中継	平成30年2月～3月の土曜・日曜

学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル (対象)	投映期間
星座を見つけよう (小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日 (第1・2回目)
日なたと日かげ (小学校中学年以上)	
月と星の動き (小学校中学年以上)	
月と太陽 (小学校高学年以上)	
地球と宇宙 (中学生以上)	
宇宙のお話 (中学生以上)	

幼児番組

※学習番組枠で希望により投映 (幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
みちかなうちゅうのおはなし 「ほしみるおじさん」	平成29年4月～5月
おりひめぼし・ひこぼし	平成29年6月～7月
かぐやひめのおはなし	平成29年8月～9月
うちゅうりょこうをたのしもう!	平成29年10月～11月
ふゆのほしめぐり	平成29年12月～平成30年3月

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。(字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記勉強会」)

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。
(年2回実施予定)

☆定 員 各220人

(2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催日時 平日(祝日・学校休業期間等を除く。)15時30分～16時15分、
土曜・日曜・祝日17時～17時45分、毎週金曜日19時～19時45分

☆観 覧 券 当日発売

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

宇宙劇場コンサート

季節にあわせて、宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサート等を開催する。

<サマーコンサート>

☆開催日時 平成29年7月8日(土) ①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演 奏 者 加賀谷 玲さん、斎藤 三弥さん、阿部 梓穂さん、吉久 亜紀さん、
Hirokoさん、hanaさん

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

<クリスマスコンサート>

☆開催日時 平成29年12月16日(土) ①14時30分～15時30分 ②17時～18時

☆演 奏 者 hatao & nami

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

<ファミリーコンサート>

☆開催日時 平成30年2月17日(土) ①11時～12時 ②13時30分～14時30分

☆演奏者 坂田おさむ&坂田めぐみ、ダリオ&クリス

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各 各220人

2 展示ゾーン運営

(1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に供する。

(2) 科学の実験ショー・実験工作教室等

サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。(約20分間)

☆開催日時 平日 10時30分～、13時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

☆内容 磁石を使って実験しよう!、燃える科学、びっくり!超低温の世界など

サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。(約20分間)

☆開催日時 毎日 11時30分～、14時30分～

(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人程度

☆内容 レンズで実験しよう!、生き物たちの見る世界、さまざまなプラスチックなど

ロボットショー

パソコン等でロボットを操作し、あいさつやダンスなどの様々なパフォーマンスショーを開催する。また、自由に触れたり声をかけたりして、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けて楽しむとともに、今後のロボット技術への興味関心を高める。(約15分間)

<ロボットショー>

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 12時30分～、15時30分～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30人程度

<ロボット展示>

- ☆展示場所 展示ゾーン トリプルスピン前

わくわくカウンター

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

- ☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等で開催）
- ☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆内 容 科学工作
科学に関する情報提供（科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示）
宇宙メダカの展示

(3) パソコン工房

デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。（約50分間）

- ☆開催日時 土曜日 13時30分～（イベント開催日は除く。）
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 16人
- ☆内 容 下じき作り、ストラップ作り、シール作りなど

(4) 実験工房

サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料などを使用して科学工作教室を開催する。（約40分間）

- ☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～（イベント開催日は除く。）
- ☆開催場所 実験工房
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆定 員 30人
- ☆内 容 力で遊ぼう、混ぜて遊ぼう、水で遊ぼうなど

(5) 団体利用向け科学教室

サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会、高齢者等の団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」、楽しい科学実験を見ることができる「サイエンスショー」、パソコンを使った簡単な紙工作などができる「パソコン工房の利用」、幼児から楽しめる「ロボットショー」、各展示物の見どころが分かる「ガイドツアー」を開催する。

☆開催時間 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室、実験工房、パソコン工房、展示ゾーン

☆対 象 小中高校等の学校、子ども会など

☆定 員 ワークショップ、サイエンスショー各 50 人程度

パソコン工房利用の場合 16 人以下

ロボットショー 50 人程度

ガイドツアー 30 人程度

☆内 容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉ごま、ぶっとびロケット、乾電池チェッカー、ぶくぶく入浴剤、シートレンズ投影機などの 40 メニュー）

サイエンスショー（パワフル空気の力、超低温の世界）

パソコン工房の利用（写真入りカード、星座早見盤）

ロボットショー（ロボットを使用したショー）

ガイドツアー（展示物の見どころを分かりやすく紹介）

N ゲージ鉄道ジオラマ

線路幅が 9mm の N ゲージ鉄道模型を使い、明治・昭和初期・現代の郡山を再現し、近代郡山の発展の様子を紹介する。

<鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 開館日の 11 時～、15 時～、17 時～（約 20 分間）

<簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時（ショー開催時間以外）

<運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

☆料 金 200 円（約 5 分間）

<ウォールミュージアム>

☆展示時間 随時（開館日 10 時～ 17 時 30 分）

<たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

<トレインガイド>

☆展示時間 随時

(6) 学校長期休業期間中の特別事業

サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催日 ①ゴールデンウィーク期間：平成 29 年 5 月 3 日（水）～ 5 月 7 日（日）、
②夏期期間：平成 29 年 7 月 15 日（土）～ 17 日（月）

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外その他機関職員など

☆内容 動くスライム、電気で作ろうホットケーキ、風船アート、人工イクラほか

夏休み科学工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる工作コーナーを開催する。

☆開催日 平成 29 年 7 月 19 日（水）～ 8 月 24 日（木）

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 光るスライム、偏光万華鏡、カラフル化石、ぶっとびロケットほか

理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生を講師に招き、実演や実験を行いながら、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを学べる講座を実施する。

☆開催日 平成 29 年 7 月 22 日（土）

① 10 時 30 分～ 12 時 小学校 1・2 年生向け

② 14 時～ 15 時 30 分 小学校 3～6 年生向け

☆開催場所 多目的研修室

☆募集人数 各 20 人

3 資料の収集・展示等

(1) 資料の収集保管

郡山市ふれあい科学館のテーマに沿った資料を収集し、保管し、必要に応じ資料台帳を作成し、管理する。

(2) 資料の展示

適時、資料や解説パネルを制作し展示する。

(3) 資料の解説

<展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

<展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

<たんけんシート>

参加者がクイズに答えながら展示ゾーンの主なポイントを巡ることで、展示物への理解を深められるワークシートを設置する。

☆開催日時 随時（開館日 10 時～ 17 時 45 分）

4 教育普及活動

(1) 講演会

星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

<第 32 回星の講演会>

☆開催日時 平成 29 年 11 月 18 日（土） 16 時～ 17 時 30 分

☆講 師 田近 英一 氏（東京大学教授）

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220 人

☆内 容 この宇宙に生命を宿す星はあるのか、生命を育む星についてわかりやすく紹介していただく。

<第 33 回星の講演会>

☆開催日時 平成 29 年 2 月 3 日（土） 16 時～ 17 時 30 分

☆講 師 平松 正顕 氏（国立天文台チリ観測所助教）

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220 人

☆内 容 視力 4,000 のアルマ望遠鏡、アルマ望遠鏡が見る宇宙をわかりやすく紹介していただく。

<スターレクチャー>

☆開催日時 平成 29 年 10 月 28 日 (土) 14 時～15 時 30 分

☆講 師 武田 康男 氏 (空の探検家)

☆開催場所 多目的研修室

☆定 員 30 人

☆内 容 4 k の美しい映像とともに、空のふしぎな現象の数々をわかりやすく紹介していただく。

(2) 講座・体験学習・ワークショップ

科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

<県内を中心とした研究機関との連携事業>

☆概 要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 5 回程度

☆連 携 先 福島大学、日本大学など

コズミックカレッジ

宇宙をテーマにした科学教育を通して、科学の楽しさや不思議に触れ、科学への関心や探求意欲を喚起し、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に行う科学教育プログラムであるコズミックカレッジを国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構と共催で開催する。

☆内 容 キッズコース

☆開催日時 平成 29 年 11 月 5 日 (日) 10 時 30 分～15 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 1 年生～4 年生とその保護者

☆募集人数 25 組 50 人

※主催：郡山市・郡山市教育委員会・郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 15 回（平成 29 年 5 月～平成 30 年 3 月）

☆対 象 一般（高校生以上）

☆募集人数 30 人

星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、24 回（通年）

☆対 象 一般（高校生以上）

天体望遠鏡操作講習会

当館で天体望遠鏡を貸し出す事業を実施する。そのため、当館の天体望遠鏡を使用するうえで必要な操作方法等の講習会を市内地域の指導者的な人を対象とし実施する。

（3）天体観望会

天体観望会

一般に大きな話題となりそうな天文現象を対象に、天体に関する興味関心を深めるため、観望する天体に関する講座と観望会を開催する。また、市内地域の指導者的な人を対象とした講座を開催し、受講者が天体観望会を地域で開催する場合には天体望遠鏡を貸し出すことで、天体観望会のすそ野を広げ、科学普及を図る。

駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間でも気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

☆開催時期 平成 29 年 4 月、5 月、6 月、7 月、8 月、9 月、10 月、11 月、
平成 30 年 3 月予定

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対 象 一般（当日自由参加）

（4）企画展

ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた内容などを、写真や解説文を交えたパネル展を開催する。

企 画 展 予 定	開 催 期 間（予定）
誕生日の星座たち	平成29年3月1日(水)～4月30日(日)
世界の天文台	平成29年5月2日(火)～6月30日(金)

天の川探訪	平成29年7月1日(土)～8月27日(日)
武田康男 空のふしぎ写真展	平成29年9月1日(金)～10月31日(火)
月のながめ	平成29年11月2日(木)～12月30日(土)
ほうき星 彗星	平成30年1月2日(火)～2月25日(日)
第5回ふくしま星・月の風景 フォトコンテスト作品展	平成30年3月3日(土)～5月31日(木)

学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の受賞作品を市内の小中学校に貸出し、宇宙や科学が身近なものとなるよう巡回展を行う。

☆開催期間 平成29年4月～平成30年3月（学校長期休業期間を除く。）

☆対 象 市内小中学校

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料・グッズを活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 平成29年10月7日(土)～9日(月)

☆開催場所 展望ロビー、研修ゾーン及び多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆内 容 鉄道ジオラマショースペシャル、鉄道模型操作体験、プラレールコーナーなど

スペースパーク企画展「3D ゴーストハウスの科学」

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、科学の不思議、楽しさを市民に体験していただく。

☆展示期間 平成29年7月15日(土)～8月24日(木) 10時～17時

☆展示場所 多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆内 容 3Dの仕組みを科学解説パネルで理解した後、3Dメガネをかけての「ゴーストハウス」を巡り、実際に3D体験を満喫する体験型企画展。

スペースパーク企画展「びっくり！鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、科学の不思議、楽しさを市民に体験していただく。

☆展示期間 平成29年12月2日(土)～平成30年1月8日(月・祝) 10時～17時

☆展示場所 多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆内 容 鏡の持つ特性を活かして、サイズを変えたり、何枚も組み合わせたり、重ねたり、また光で反射させたり、不思議で楽しい鏡のサイエンスマジック展。

ロボット展

ロボット製作等に取り組んでいる福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校及び福島県立白河実業高等学校と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。また、操作体験ロボットを使った競技大会や工作体験教室も開催する。

☆開催日時 平成 30 年 3 月 24 日（土）～ 4 月 5 日（木） 10 時～ 17 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆内 容 ロボット展示、操作体験

大会やコンテストに出場したロボットの展示や操作体験を行う。

ロボット工作

簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

ロボット大会

展示している操作体験ロボットを使っの競技大会を行う。

(5) 学習支援

ロボット貸出

多くの子どもたちが、ロボットとのコミュニケーションを図る機会を設け、ロボット技術への興味関心を高めていただくために、ロボットの貸し出しを行う。

☆開催期間 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月（学校長期休業期間を除く。）

☆対 象 市内小中学校

天体望遠鏡貸出

☆開催期間 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

☆対 象 天体望遠鏡操作講習修了者

高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

☆開催時期 平成 29 年 6 月、7 月、9 月、10 月、11 月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場など

科学館支援グループ

小中高校大学の先生方から構成されるグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ参加するほか、理科教材製作等の企画を行う。

☆開催期間 通年

(6) アウトリーチ事業（出前講座）

星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 平成 29 年 5 月から 11 月まで

☆開催回数 7 回（予定）

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定 員 各 100 人程度（各公民館で募集）

科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日 14 時以降（月 1 回程度）

（ゴールデンウィーク、学校長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20 人以上 150 人程度の団体

講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

☆開催期間 通年

(7) クラブ活動

天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じ、天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第 2 土曜日 9 時 45 分～11 時 45 分を基本とする

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場ほか

☆開催回数 7 回（平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月）

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 30人

科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第3・第4土曜日 10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 7回（平成29年6月～平成30年2月）

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 25人×2クラス（合計50人）

科学情報クラブ

コンピュータを使用し総合的に学習する。色々なソフトウェアを利用して、科学的な興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第1・2土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回（平成29年6月～平成30年2月）

☆対 象 小学3年生～中学3年生

☆募集人数 16人×2クラス（合計32人）

(8) 作品募集

第17回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図る。

☆部 門 静止画部門（小学生以下の部・中学生の部・一般（高校生以上）の部）、
動画部門

☆募集締切 平成29年9月30日（土）

☆展示期間 平成29年11月4日（土）～平成30年1月8日（月・祝）

☆展示場所 展望ロビー

ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

<第5回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト>

☆募集締切 平成29年11月30日(木)

☆展示期間 平成30年3月3日(土)～5月31日(木)

☆審査員 鈴木 一雄氏(自然写真家)、渡部 潤一氏(天文学者)

☆展示場所 23階ホワイエ

「宇宙の日記念」全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部について共催し募集から審査までを実施する。また、入選作品等の展示会を開催する。

☆部門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成29年5月～7月31日(月)

☆展示期間 平成29年10月1日(日)～15日(日)

☆展示場所 展望ロビー

※主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、一般財団法人リモート・センシング技術センター、一般財団法人日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

(9) 社会的弱者に配慮した事業

プラネタリウム番組投映「キッズアワー」

季節の星座紹介と星座の神話などを組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説のプラネタリウム番組を制作し生解説で投映する。(詳細は1(1)「キッズアワー」参照)

字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。(字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記勉強会」)

☆内容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。(年2回実施)

☆定員 各220人

(10) 出版

年報の発行

年度終了後1年間の活動記録をまとめた年報を発行し、関係機関等に配布する。

科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学実験案内等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、関係機関等に配布する。

(11) 情報発信

プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し配布する。

学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法をまとめた冊子を作成して、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図る。

ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信する。

テレビ、新聞等による情報発信

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

5 調査・研究・発表

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会が主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行うとともに必要に応じ発表を行う。

先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

6 その他

(1) 運営協力

郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月 毎月 1 回日曜日（予定）10 時～12 時

日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的

で設立されて活動をしている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

- ☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
分団活動の発表の場の提供等

ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

- ☆開催期間 通年

こどもまつり

- ☆開催日 平成29年5月5日(金・祝)
- ☆開催場所 開成山公園・ミューカルがくと館
- ※主催：こどもまつり実行委員会

(2) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の推進

<スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

―活動開始までの流れ―

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

<スペースパークボランティアの会活動計画>

「案内グループ」

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、鉄道ジオラマを含む総合案内や紙芝居
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド
高齢者・身障者の観覧補助
出張活動の実施

「科学グループ」

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

「天文グループ」

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助

☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

「運営部会」

☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。

☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。

☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

(3) 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 平成 29 年 9 月 6 日（水）～ 13 日（水）

※ 11 日（月）の休館日を除く 7 日間

(4) インターンシップ（就業体験）受け入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ（就業体験）や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

V 予算・決算

1 平成 28 年度決算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	6,030	
指定管理料収入	312,907,646	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	28,047,800	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
入場料収入	5,954,200	開館 15 周年記念事業「プラレールフェスティバル」入場料収入
販売収入	2,033,690	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入 開館 15 周年記念事業「プラレールフェスティバル」 アトラクション景品販売収入
雑収入	218,107	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
受取利息収入	0	
雑収入	492,080	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	13,830,000	
合 計	363,489,553	

収入合計 ￥363,489,553

支出 事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	82,044,333	1 職員費 145,605,476
福利厚生費	21,295,697	
臨時雇賃金	41,672,916	2 各種業務委託 65,704,176
旅費交通費	592,530	
通信運搬費	1,985,895	3 光熱水費 21,081,565
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,992,278	4 施設管理費 31,398,135
修繕費	2,045,109	
印刷製本費	183,600	
賃借料	8,507,312	
諸謝金	200,000	
手数料	102,806	
租税公課	14,190,747	
負担金支出	204,240	
委託費	65,704,176	
燃料費	129,517	
光熱水料費	21,081,565	
損害保険料	856,631	
食糧費	0	
合 計	263,789,352	

事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	1,868,865	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	644,910	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	24,802	3 資料の収集・展示等
消耗品費	9,211,720	4 教育普及活動
印刷製本費	7,369,056	5 調査・研究・発表
賃借料	17,400,545	6 その他
諸謝金	438,500	
手数料	6,696	
租税公課	16,600	
負担金支出	25,000	
委託費	25,748,362	
広告宣伝費	5,072,760	
損害保険料	119,850	
食糧費	363,290	
合 計	68,310,956	

支出合計 ￥332,100,308

収支差額 ￥31,389,245

参考

使 用 料 名	金 額	説 明
ふれあい科学館観覧料	26,870,400	宇宙劇場 77,040 人 常設展示 85,184 人 ワンヤ・パスポート 117 人
ふれあい科学館使用料	1,177,400	ピュースコープ利用回数 4,892 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 3,441 回
合 計	28,047,800	

2 平成 29 年度予算

収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	5,000	基本財産利息収入
指定管理料収入	315,565,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	28,368,000	観覧料、ピュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
入場料収入	0	
販売収入	200,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	224,000	カフェ光熱水費
雑収入	535,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	14,445,000	
合 計	359,342,000	

収入合計 ￥359,342,000

支出

事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	89,000,000	1 職員費 158,695,000
福利厚生費	23,597,000	
臨時雇賃金	46,098,000	2 各種業務委託 66,857,000
旅費交通費	709,000	
通信運搬費	2,163,000	3 光熱水費 25,072,000
消耗什器備品費	951,000	
消耗品費	3,696,000	
修繕費	2,240,000	4 施設管理費 33,678,000
印刷製本費	1,815,000	
賃借料	7,208,000	
諸謝金	200,000	
手数料	80,000	
租税公課	13,129,000	
負担金支出	145,000	
委託費	66,857,000	
広告宣伝費	324,000	
燃料費	238,000	
光熱水料費	25,072,000	
損害保険料	755,000	
食糧費	25,000	
合 計	284,302,000	

事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	1,545,000	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	769,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	417,000	3 資料の収集・展示等
消耗品費	8,144,000	4 教育普及活動
印刷製本費	8,908,000	5 調査・研究・発表
賃借料	17,965,000	6 その他
諸謝金	832,000	
手数料	97,000	
租税公課	21,000	
負担金支出	21,000	
委託費	30,990,000	
広告宣伝費	4,774,000	
損害保険料	235,000	
食糧費	322,000	
合 計	75,040,000	

支出合計 ￥359,342,000

Ⅵ 施設利用状況

1 月別入館者数

平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成28年 4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成29年 1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合計	240,887	77,040	85,184	162,224

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
合 計	3,907,792	1,058,154	1,063,304	2,121,458

2 施設別入館者数

宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	17	1,061	62	366	22	10	2,451	245	42	4	27	3,512	130	408	15
5月	17	2,699	159	752	44	9	2,108	234	0	0	26	4,807	185	752	29
6月	18	1,175	65	3,019	168	8	1,667	208	92	12	26	2,842	109	3,111	120
7月	17	2,945	173	2,546	150	11	6,255	569	337	31	28	9,200	329	2,883	103
8月	21	8,078	385	737	35	9	5,315	591	139	15	30	13,393	446	876	29
9月	16	871	54	3,100	194	10	2,508	251	41	4	26	3,379	130	3,141	121
10月	15	588	39	750	50	11	4,501	409	113	10	26	5,089	196	863	33
11月	17	878	52	590	35	9	1,547	172	116	13	26	2,425	93	706	27
12月	15	925	62	443	30	12	3,852	321	0	0	27	4,777	177	443	16
1月	12	1,382	115	209	17	10	2,200	220	0	0	22	3,582	163	209	10
2月	16	782	49	382	24	8	2,173	272	0	0	24	2,955	123	382	16
3月	19	3,015	159	148	8	9	4,120	458	22	2	28	7,135	255	170	6
合計	200	24,399	122	13,042	65	116	38,697	334	902	8	316	63,096	200	13,944	44

展示ゾーン

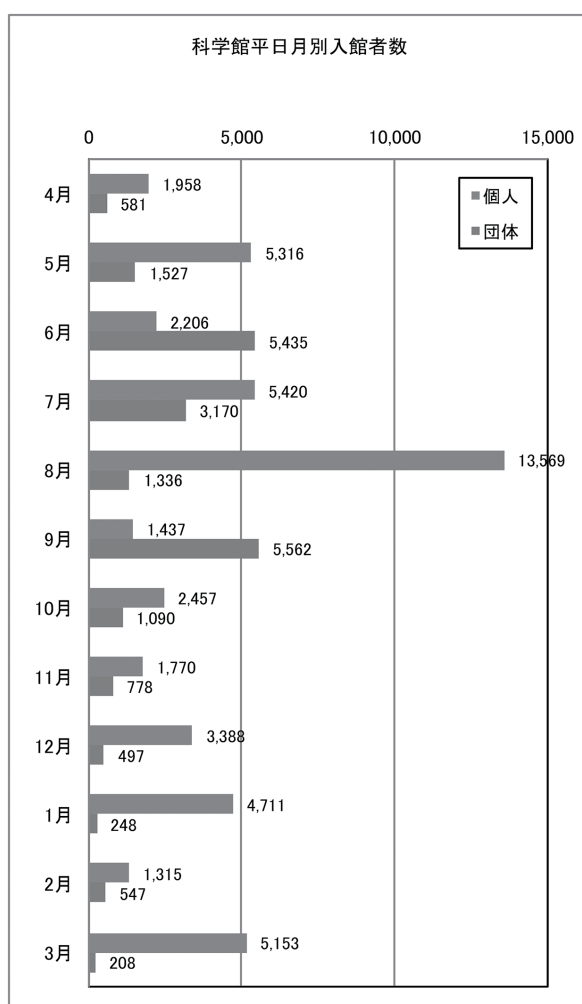
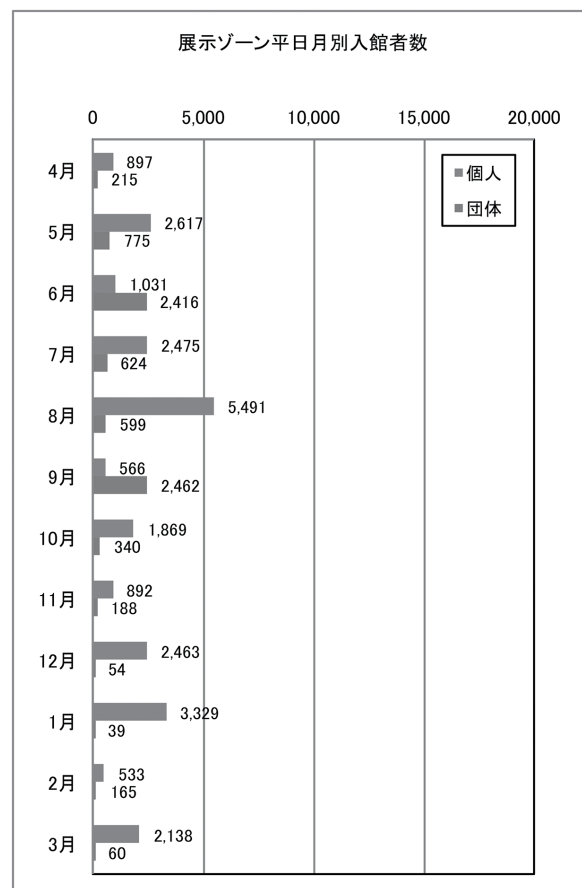
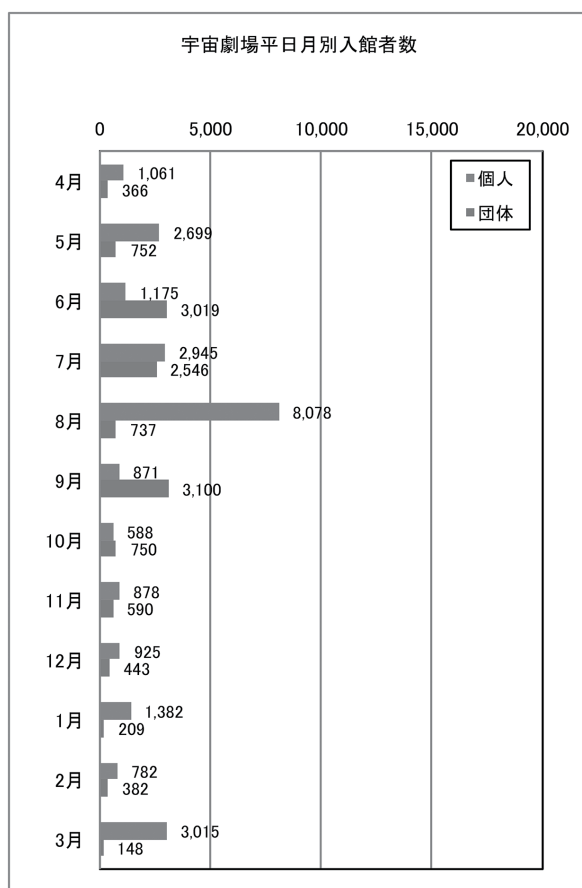
(単位：人)

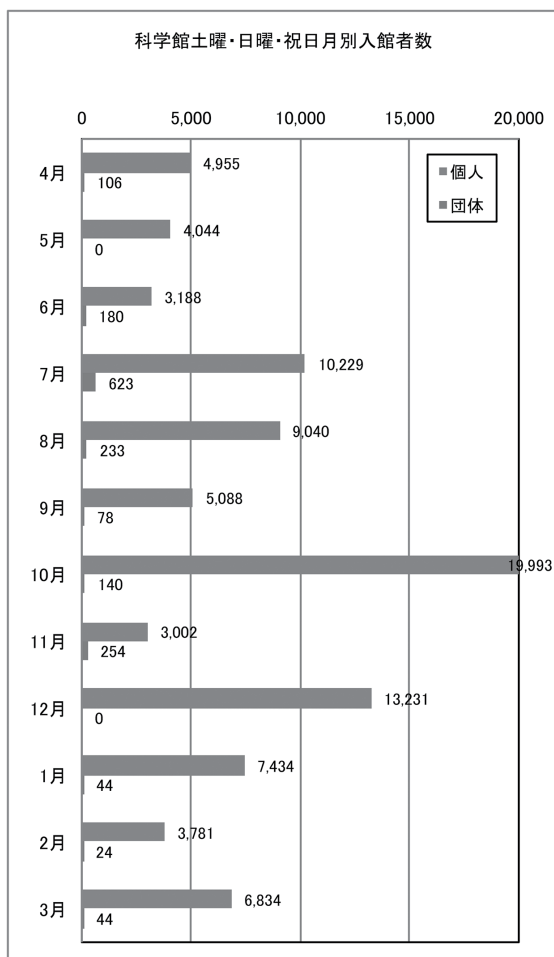
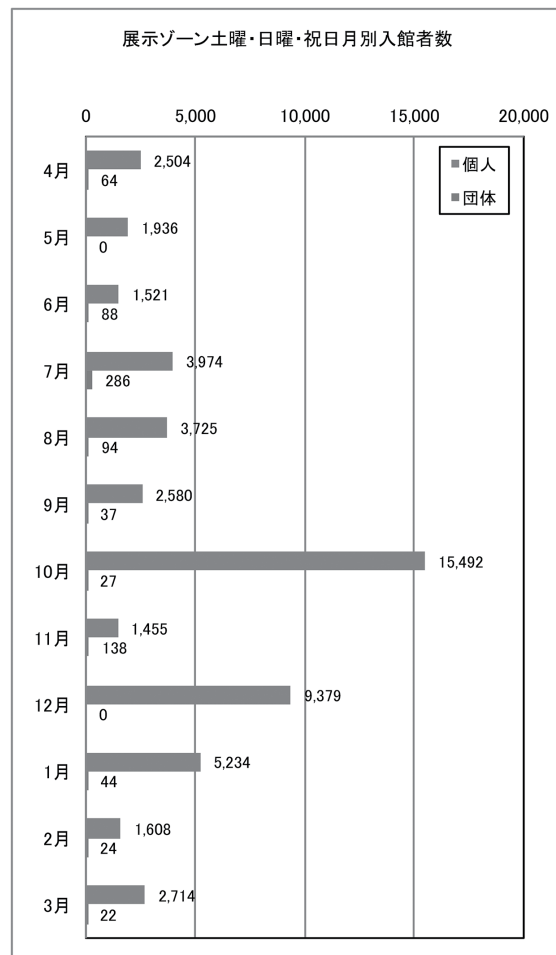
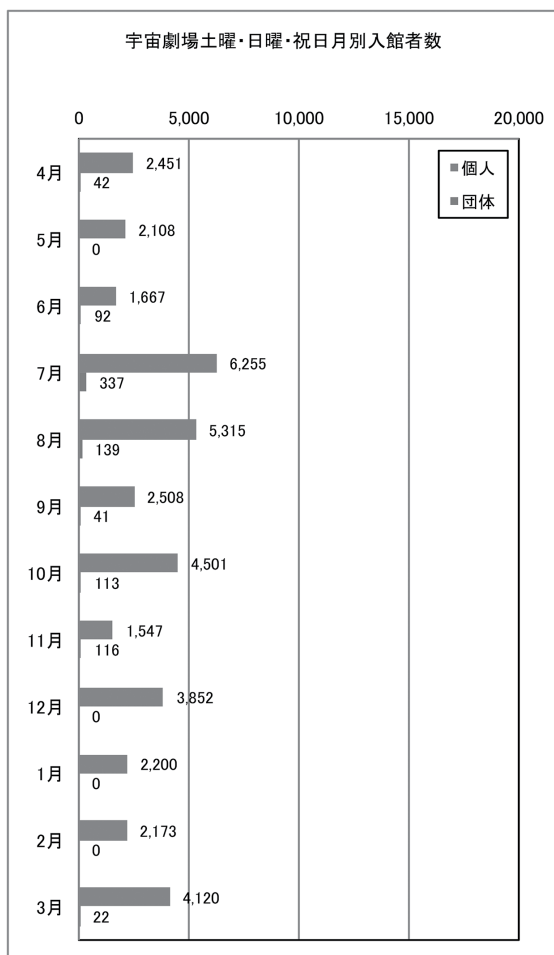
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	17	897	53	215	13	10	2,504	250	64	6	27	3,401	126	279	10
5月	17	2,617	154	775	46	9	1,936	215	0	0	26	4,553	175	775	30
6月	18	1,031	57	2,416	134	8	1,521	190	88	11	26	2,552	98	2,504	96
7月	17	2,475	146	624	37	11	3,974	361	286	26	28	6,449	230	910	33
8月	21	5,491	261	599	29	9	3,725	414	94	10	30	9,216	307	693	23
9月	16	566	35	2,462	154	10	2,580	258	37	4	26	3,146	121	2,499	96
10月	15	1,869	125	340	23	11	15,492	1,408	27	2	26	17,361	668	367	14
11月	17	892	52	188	11	9	1,455	162	138	15	26	2,347	90	326	13
12月	15	2,463	164	54	4	12	9,379	782	0	0	27	11,842	439	54	2
1月	12	3,329	277	39	3	10	5,234	523	44	4	22	8,563	389	83	4
2月	16	533	33	165	10	8	1,608	201	24	3	24	2,141	89	189	8
3月	19	2,138	113	60	3	9	2,714	302	22	2	28	4,852	173	82	3
合計	200	24,301	122	7,937	40	116	52,122	449	824	7	316	76,423	242	8,761	28

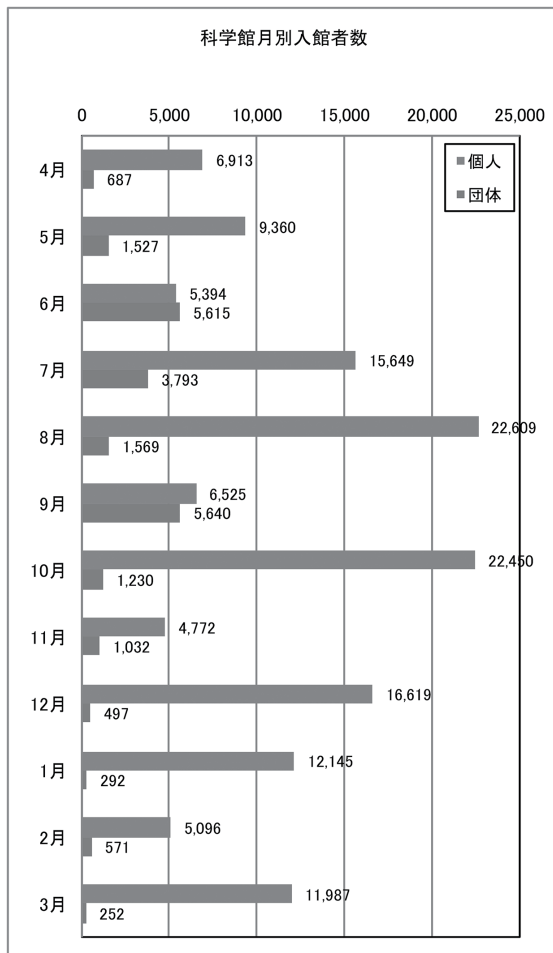
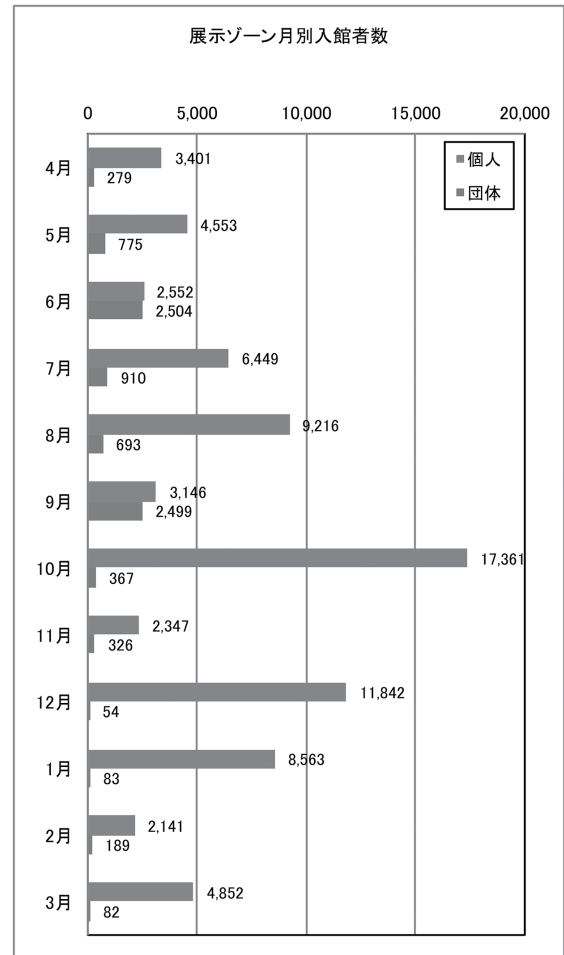
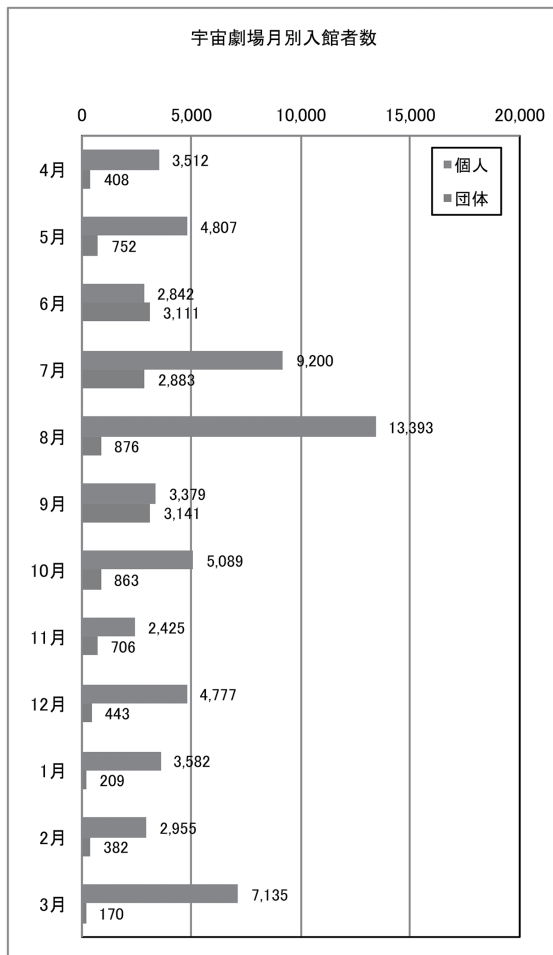
合計

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	17	1,958	115	581	34	10	4,955	496	106	11	27	6,913	256	687	25
5月	17	5,316	313	1,527	90	9	4,044	449	0	0	26	9,360	360	1,527	59
6月	18	2,206	123	5,435	302	8	3,188	399	180	23	26	5,394	207	5,615	216
7月	17	5,420	319	3,170	186	11	10,229	930	623	57	28	15,649	559	3,793	135
8月	21	13,569	646	1,336	64	9	9,040	1,004	233	26	30	22,609	754	1,569	52
9月	16	1,437	90	5,562	348	10	5,088	509	78	8	26	6,525	251	5,640	217
10月	15	2,457	164	1,090	73	11	19,993	1,818	140	13	26	22,450	863	1,230	47
11月	17	1,770	104	778	46	9	3,002	334	254	28	26	4,772	184	1,032	40
12月	15	3,388	226	497	33	12	13,231	1,103	0	0	27	16,619	616	497	18
1月	12	4,711	393	248	21	10	7,434	743	44	4	22	12,145	552	292	13
2月	16	1,315	82	547	34	8	3,781	473	24	3	24	5,096	212	571	24
3月	19	5,153	271	208	11	9	6,834	759	44	5	28	11,987	428	252	9
合計	200	48,700	244	20,979	105	116	90,819	783	1,726	15	316	139,519	442	22,705	72







3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	182	596	689	1,651	147	247	3,512
5月	220	750	740	2,498	243	356	4,807
6月	169	401	278	1,412	195	387	2,842
7月	971	2,134	473	3,973	521	1,128	9,200
8月	1,443	3,533	891	5,628	646	1,252	13,393
9月	206	508	473	1,674	160	358	3,379
10月	210	313	224	1,219	145	2,978	5,089
11月	133	298	219	1,204	190	381	2,425
12月	376	943	558	2,244	242	414	4,777
1月	395	646	252	1,756	189	344	3,582
2月	265	333	361	1,429	125	442	2,955
3月	702	1,321	866	3,350	271	625	7,135
合 計	5,272	11,776	6,024	28,038	3,074	8,912	63,096

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	207	42	28	131	408	3,920
5月	128	396	0	134	94	752	5,559
6月	647	2,213	52	173	26	3,111	5,953
7月	1,075	1,494	0	313	1	2,883	12,083
8月	11	630	120	109	6	876	14,269
9月	150	2,855	0	136	0	3,141	6,520
10月	264	510	12	74	3	863	5,952
11月	181	442	0	83	0	706	3,131
12月	156	277	0	8	2	443	5,220
1月	117	38	46	8	0	209	3,791
2月	196	129	0	5	52	382	3,337
3月	92	60	0	18	0	170	7,305
合 計	3,017	9,251	272	1,089	315	13,944	77,040

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	5	1	0	0	4	10
5月	4	6	0	0	1	1	12
6月	16	45	1	0	1	2	65
7月	25	26	0	0	0	7	58
8月	0	11	3	0	0	7	21
9月	4	48	0	0	0	1	53
10月	8	9	0	1	0	3	21
11月	4	10	0	1	0	1	16
12月	4	3	0	0	0	0	7
1月	1	1	2	0	0	0	4
2月	5	3	0	0	1	0	9
3月	2	1	0	1	0	1	5
合 計	73	168	7	3	3	27	281

4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	1,081	87	1,300	933	3,401
5月	1,311	117	1,976	1,149	4,553
6月	589	62	788	1,113	2,552
7月	1,782	106	2,284	2,277	6,449
8月	2,938	306	3,696	2,276	9,216
9月	767	142	1,336	901	3,146
10月	1,156	93	5,010	11,102	17,361
11月	552	59	880	856	2,347
12月	1,573	132	5,325	4,812	11,842
1月	1,179	110	3,901	3,373	8,563
2月	385	115	845	796	2,141
3月	1,372	231	1,836	1,413	4,852
合 計	14,685	1,560	29,177	31,001	76,423

(単位：人)

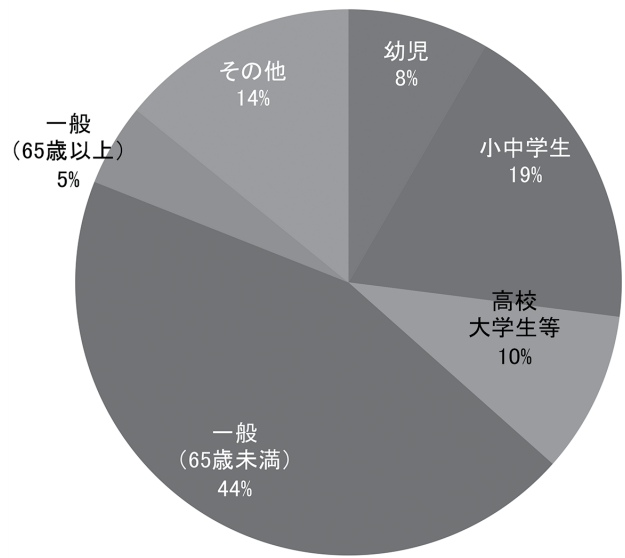
月	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	233	42	4	279	3,680
5月	742	0	33	775	5,328
6月	2,364	0	140	2,504	5,056
7月	751	0	159	910	7,359
8月	379	237	77	693	9,909
9月	2,397	0	102	2,499	5,645
10月	354	0	13	367	17,728
11月	210	0	116	326	2,673
12月	54	0	0	54	11,896
1月	38	0	45	83	8,646
2月	172	8	9	189	2,330
3月	63	0	19	82	4,934
合 計	7,757	287	717	8,761	85,184

(単位：団体)

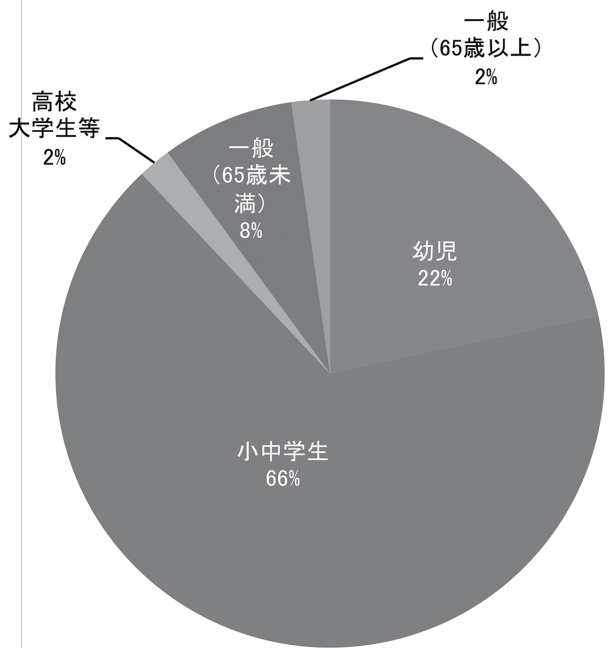
月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	5	1	0	3	9
5月	9	0	0	0	9
6月	47	0	0	3	50
7月	15	0	0	6	21
8月	8	6	0	5	19
9月	44	0	0	2	46
10月	8	0	0	1	9
11月	5	0	1	4	10
12月	3	0	0	0	3
1月	1	0	0	2	3
2月	4	0	0	1	5
3月	1	0	0	2	3
合 計	150	7	1	29	187

宇宙劇場入館者の区分別割合

個人入館者の区分別割合

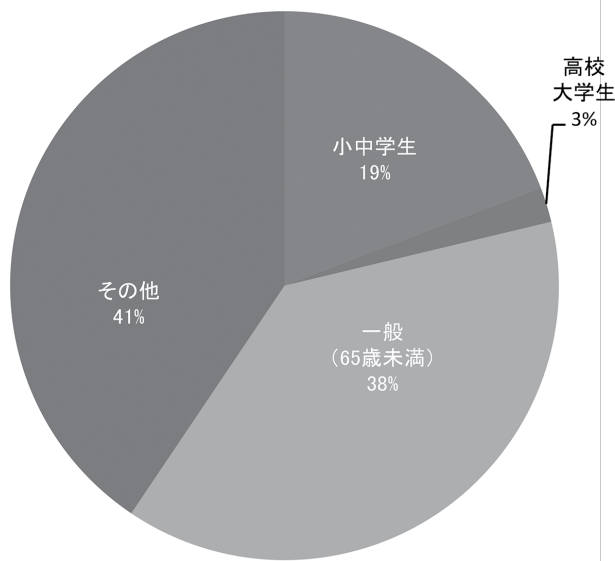


団体入館者の区分別割合

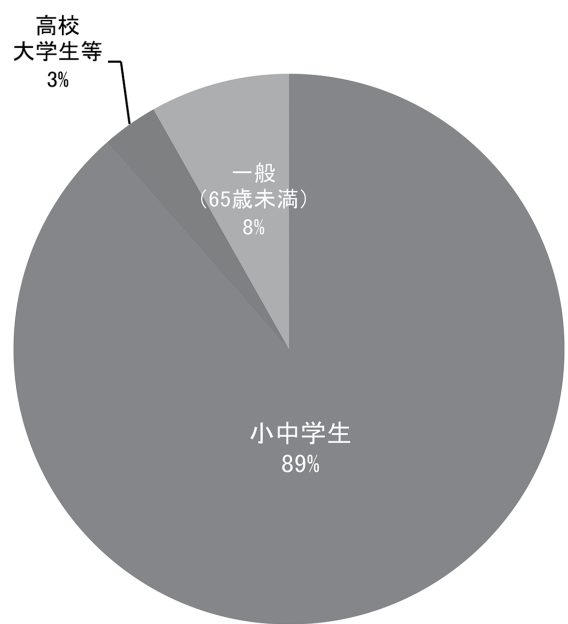


展示ゾーン入館者の区分別割合

個人入館者の区分別割合



団体入館者の区分別割合



5 平成 22 年度から平成 28 年度までの入館者数の変遷

平成 22 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 22 年 4 月	16,106	3,377	4,452	7,829
5 月	19,254	4,098	5,795	9,893
6 月	17,565	7,061	6,477	13,538
7 月	30,755	12,245	9,373	21,618
8 月	41,499	15,292	13,522	28,814
9 月	18,094	6,238	6,231	12,469
10 月	19,998	4,979	7,332	12,311
11 月	15,404	3,331	3,682	7,013
12 月	25,824	6,924	6,432	13,356
平成 23 年 1 月	19,052	4,832	6,034	10,866
2 月	13,609	3,573	3,148	6,721
3 月	4,474	754	716	1,470
合 計	241,634	72,704	73,194	145,898

平成 23 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 23 年 4 月	1,686	349	587	936
5 月	15,203	3,222	4,299	7,521
6 月	13,192	3,644	3,805	7,449
7 月	35,496	13,130	10,809	23,939
8 月	29,937	10,011	12,260	22,271
9 月	17,240	6,083	6,217	12,300
10 月	25,411	6,095	17,730	23,825
11 月	11,769	4,436	4,445	8,881
12 月	21,017	5,563	10,291	15,854
平成 24 年 1 月	19,714	4,156	11,978	16,134
2 月	16,388	0	2,250	2,250
3 月	28,330	0	4,399	4,399
合 計	235,383	56,689	89,070	145,759

平成 24 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 24 年4月	15,475	1,645	4,069	5,714
5 月	22,466	8,385	6,692	15,077
6 月	16,866	6,832	6,236	13,068
7 月	24,323	10,741	7,283	18,024
8 月	33,552	14,923	10,441	25,364
9 月	17,459	6,706	6,365	13,071
10 月	15,856	4,211	4,551	8,762
11 月	13,724	3,558	3,350	6,908
12 月	22,325	4,612	5,513	10,125
平成 25 年1月	16,220	4,361	4,866	9,227
2 月	12,760	3,547	2,651	6,198
3 月	19,643	5,004	5,162	10,166
合 計	230,669	74,525	67,179	141,704

平成 25 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 25 年4月	14,169	2,806	3,783	6,589
5 月	15,976	4,097	4,348	8,445
6 月	17,348	6,692	6,071	12,763
7 月	22,669	9,367	7,994	17,361
8 月	32,210	12,585	10,073	22,658
9 月	16,831	5,747	5,066	10,813
10 月	15,000	4,390	4,230	8,620
11 月	13,862	3,576	2,916	6,492
12 月	22,285	5,354	4,573	9,927
平成 26 年1月	15,092	4,091	4,063	8,154
2 月	9,099	2,343	1,523	3,866
3 月	17,928	4,376	4,726	9,102
合 計	212,469	65,424	59,366	124,790

平成 26 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 26 年 4 月	13,033	2,533	3,391	5,924
5 月	15,592	4,135	4,798	8,933
6 月	14,005	4,886	4,609	9,495
7 月	24,181	10,896	7,882	18,778
8 月	34,895	15,013	10,784	25,797
9 月	16,669	5,895	4,515	10,410
10 月	15,439	4,605	4,121	8,726
11 月	14,579	3,757	3,457	7,214
12 月	16,690	3,847	2,683	6,530
平成 27 年 1 月	11,129	2,549	2,428	4,977
2 月	10,083	2,252	1,931	4,183
3 月	17,468	3,876	4,477	8,353
合 計	203,763	64,244	55,076	119,320

平成 27 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 27 年 4 月	12,994	2,419	3,232	5,651
5 月	16,197	3,996	4,526	8,522
6 月	14,429	4,926	4,572	9,498
7 月	21,676	9,750	6,428	16,178
8 月	31,958	12,777	11,165	23,942
9 月	18,172	7,377	4,843	12,220
10 月	15,645	3,818	4,185	8,003
11 月	14,211	4,183	3,289	7,472
12 月	25,995	6,560	8,175	14,735
平成 28 年 1 月	17,516	4,674	6,235	10,909
2 月	11,457	2,961	2,528	5,489
3 月	16,344	3,846	4,183	8,029
合 計	216,594	67,287	63,361	130,648

平成 28 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 28 年4月	13,975	3,920	3,680	7,600
5月	17,862	5,559	5,328	10,887
6月	15,551	5,953	5,056	11,009
7月	25,020	12,083	7,359	19,442
8月	32,803	14,269	9,909	24,178
9月	17,406	6,520	5,645	12,165
10月	26,197	5,952	17,728	23,680
11月	12,985	3,131	2,673	5,804
12月	28,308	5,220	11,896	17,116
平成 29 年1月	19,048	3,791	8,646	12,437
2月	11,985	3,337	2,330	5,667
3月	19,747	7,305	4,934	12,239
合 計	240,887	77,040	85,184	162,224

6 平成 28 年度施設利用状況の結果分析

(1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○平成 28 年度：162,224 人（前年度：130,648 人）

○前年度比：24.2%増（31,576 人増）

☆展望ロビー入館者数

○平成 28 年度：240,887 人（前年度：216,594 人）

○前年度比：約 11.2%増（12,831 人増）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：13,519 人（前年度：10,887 人）

○展望ロビー：20,074 人（前年度：18,050 人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約 67.3%

（前年度比：7%増 ※前年度：約 60.3%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4.7%	6.7%	6.8%	12.0%	14.9%	7.5%	14.6%	3.6%	10.5%	7.7%	3.5%	7.5%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
134.5%	127.8%	115.9%	120.2%	101.0%	99.5%	295.9%	77.7%	116.2%	114.0%	103.2%	152.4%

(2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：67,287 人）

○平成 28 年度：77,040 人

○前年度比：約 14.5%増

☆展示ゾーン入館者数（前年度：63,361 人）

○平成 28 年度：85,184 人

○前年度比：約 34.4%増

(3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：109,943 人）

○平成 28 年度：139,519 人

○前年度比：約 27%増

☆団体利用者数（前年度：20,705 人）

○平成 28 年度：22,705 人

○前年度比：約 9.7%増

☆来館形態比

○個人：約 86.0%（前年度：約 84.2%）

○団体：約 14.0%（前年度：約 15.8%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平日：約 43%（前年度：約 45.0%）

○土・日・祝：約 57%（前年度：約 55.0%）

（4） 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：77,040 人）

○幼児：8,289 人（約 10.7%） 内訳＝個人：5,272 人 団体：3,017 人

○小・中学生：21,027 人（約 27.3%） 内訳＝個人：11,776 人 団体：9,251 人

○高校・大学生：6,296 人（約 8.2%） 内訳＝個人：6,024 人 団体：272 人

○一般（65 歳未満）：29,127 人（約 37.8%） 内訳＝個人：28,038 人 団体：1,089 人

○一般（65 歳以上）：3,389 人（約 4.4%） 内訳＝個人：3,074 人 団体：315 人

○その他（障がい者 など）：8,912 人（約 11.6%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：85,184 人）

○小・中学生：22,442 人（約 26.3%） 内訳＝個人：14,685 人 団体：7,757 人

○高校・大学生：1,847 人（約 2.2%） 内訳＝個人：1,560 人 団体：287 人

○一般（65 歳未満）：29,894 人（約 35.1%） 内訳＝個人：29,177 人 団体：717 人

○その他（幼児、障がい者など）：31,001 人（約 36.4%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65 歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65 歳未満）」が最も多く約 36.4%、次いで「小・中学生」約 26.8%と、昨年度と同様に「一般（65 歳未満）」が多い結果となりました。

これは、今年度が開館 15 周年の年で、「開館 15 周年記念 鉄道の日 鉄道フェスティバル『きかんしゃトーマスとなかまたち』」、「開館 15 周年記念プラレールフェスティバル」など多くの親子で楽しめる記念事業を開催したことにより、お子さんとご両親、祖父母での来館が増えたことによるものです。

（5） 総括

施設利用状況は、平成 27 年度に比べ入館者合計が 162,224 人で約 24.2%増加、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が 26,870,400 円で 6.8%の増加、展望ロビーにおける施設利用料金が 1,177,400 円で前年度と比べほぼ同額となりました。

内訳を見ると特に展示ゾーンの入館者数の増加が大きく、増加分のおよそ 7 割を占めました。

これは、10 月 1 日、2 日に開催した「開館 15 周年記念イベント」9,317 人、10 月 8 日から 16 日まで開催した「開館 15 周年記念 鉄道の日 鉄道フェスティバル『きかんしゃトーマスとなかまたち』」9,540 人、「開館 15 周年記念 スペースパーク企画展『プラレールフェスティバル』」16,152 人と開館 15 周年記念関連事業に多くの市民の方にお出で頂いたことによるものです。

また、宇宙劇場では「宙とロック～日本のバンド特集～」3,278 人と、星と音楽のひとときの番組としては開館以来一番の入館者となり、さらには、夏のドーム映像番

組「ウォーキング with ダイナソー太古の地球へ」15,154 人、春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、「Planetarian ～ちいさいほしのゆめ～プラネタリウム特別版」のいずれも日本初公開となる番組を投映し、併せて 3,952 人の方にご覧いただくことも入館者増加の要因となっています。

今年度は、開館 15 周年の年で記念事業を多く開催したことにより、入館者数を大幅にアップすることが出来ましたが、開館以来 15 年が経過し、多くの展示物が開館当初のままで、展示物の大幅な改修の予定もなく、今後、入館者数の維持を図っていくことは大変困難なものと予想されます。

しかしながら、市民の方の興味関心を引くことができる企画展の実施、市民の皆様楽しんでいただける宇宙劇場番組の投映、既存事業充実、スクラップ&ビルドを重ね入館者数の増加に努めていきたいと考えております。

Ⅶ その他

1 条例・規則

(1) 条例

○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日

郡山市条例第 33 号

(設置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

(管理)

第 3 条 科学館は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

(事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分(入館は、午後 5 時)までとする。
ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、教育委員会が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあたるときは、その翌日とする。)
 - (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

(観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

(観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

(観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

(利用の制限)

第10条 教育委員会(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

(入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

(管理の代行)

第12条 教育委員会は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

(指定管理者の募集の公告等)

第 13 条 教育委員会は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

(指定管理者の申請)

第 14 条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して教育委員会に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して 2 年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）、民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

(指定管理者の選定)

第 15 条 教育委員会は、前条第 1 項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他教育委員会が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 教育委員会は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第 1 項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

(指定管理者の指定)

第 16 条 教育委員会は、前条第 1 項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

(協定の締結)

第 17 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について教育委員会と協定を締結しなければならない。

（事業報告書の提出）

第 18 条 法第 244 条の 2 第 7 項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後 60 日（同条第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して 60 日）以内にしなければならない。

（利用料金）

第 19 条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納入しなければならない。この場合において、第 7 条の規定は適用しない。

2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得てそれぞれ定める。

4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第 8 条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例（平成 11 年郡山市条例第 24 号）の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第 9 条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

5 指定管理者は、第 3 項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第 9 条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

6 指定管理者は、第 3 項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

（指定等の公告）

第 20 条 教育委員会は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

(1) 第 16 条第 1 項の規定により指定管理者を指定したとき。

(2) 前条第 3 項の規定により利用料金の額を承認したとき。

(3) 法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。

(4) 前 3 号の規定により公告した事項に変更があつたとき。

（開館時間等の変更）

第 21 条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、第 5 条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第 6 条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

（事業計画書等の内容の変更等）

第 22 条 指定管理者は、第 14 条第 1 項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、教育委員会にその旨を届け出なければならない。

(秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、教育委員会に引き渡さなければならない。ただし、教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

(指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

* 別表以下省略

(2) 規則

○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 13 年 6 月 1 日

郡山市教育委員会規則第 12 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付)

第 2 条 郡山市教育委員会（以下「教育委員会」という。条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

(観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

(観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、教育委員会に提出しなければならない。

(遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

(募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要

- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期間
- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第 1 項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他教育委員会が必要と認める事項

2 条例第 13 条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和 40 年郡山市条例第 2 号）第 2 条第 2 項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

（申請書等）

第 7 条 条例第 14 条第 1 項の規定による申請は、指定申請書（第 4 号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第 14 条第 1 項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近 2 事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近 2 事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他教育委員会が必要と認める書類

2 条例第 14 条第 2 項第 4 号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。

ア 破産者で復権を得ないもの

イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前 30 日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第 13 条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して 2 年を経過しないもの

ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において 2 年を経過しないもの

エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員

- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める

団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。）でないこと。

(3) 教育委員会が必要と認める資格を有する者を配置できること。

（選定通知）

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書（第5号様式）によるものとする。

（指定通知）

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書（第6号様式）により申請した団体に通知するものとする。

（協定締結事項）

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他教育委員会が必要と認める事項

（事業計画書等の変更）

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他教育委員会が軽微であると認める事項

（委任）

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第11号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

* 各種様式省略

2 利用案内

< 普通観覧料 >

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円
※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料 ※団体割引…20 名以上の団体は 20% OFF		

< 定期観覧料（ワンイヤーパスポート） >

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が1年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

< 宇宙劇場番組開始時間 >

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10 : 15	11 : 00
2 回目	11 : 30	12 : 30
3 回目	14 : 00	14 : 00
4 回目	15 : 30	15 : 30
5 回目		17 : 00
6 回目	19 : 00 ※金曜日のみ（祝日を除く）	
※番組開始時間に変更になる場合があります。		

< 開館時間 >

常設展示 … 10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

宇宙劇場 … 10 : 00 ～ 17 : 45（入場は 17 : 00 まで）

※金曜日は 10 : 00 ～ 19 : 45（入場は 19 : 00 まで）

< 休館日 >

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28 ～ 1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

< 展望ロビー >

10 : 00 ～ 20 : 00

3 スペースパークボランティアの会会則

スペースパークボランティアの会会則

(名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

(目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

(活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
- (2) 本会及び科学館主催事業の支援
- (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
- (4) その他必要な活動

2 活動は科学館と協議の上、実施する。

3 活動項目は、随時拡充していくものとする。

4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内グループ
- (2) 科学グループ
- (3) 天文グループ

(会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

2 会員に会長名で登録証を発行する。

3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

(研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名

(3) 運営委員 若干名

2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。

3 スペースパークボランティアの会会則

4 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

5 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。

6 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。

3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

(1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。

(2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。

(3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

(1) 総務部会

(2) 企画部会

(3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

(1) 退会届の提出をした場合

(2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合

(3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合

(4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合

(5) 政治活動や宗教活動を行った場合

(6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合

(7) 営利を目的とした行為を行った場合

(8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

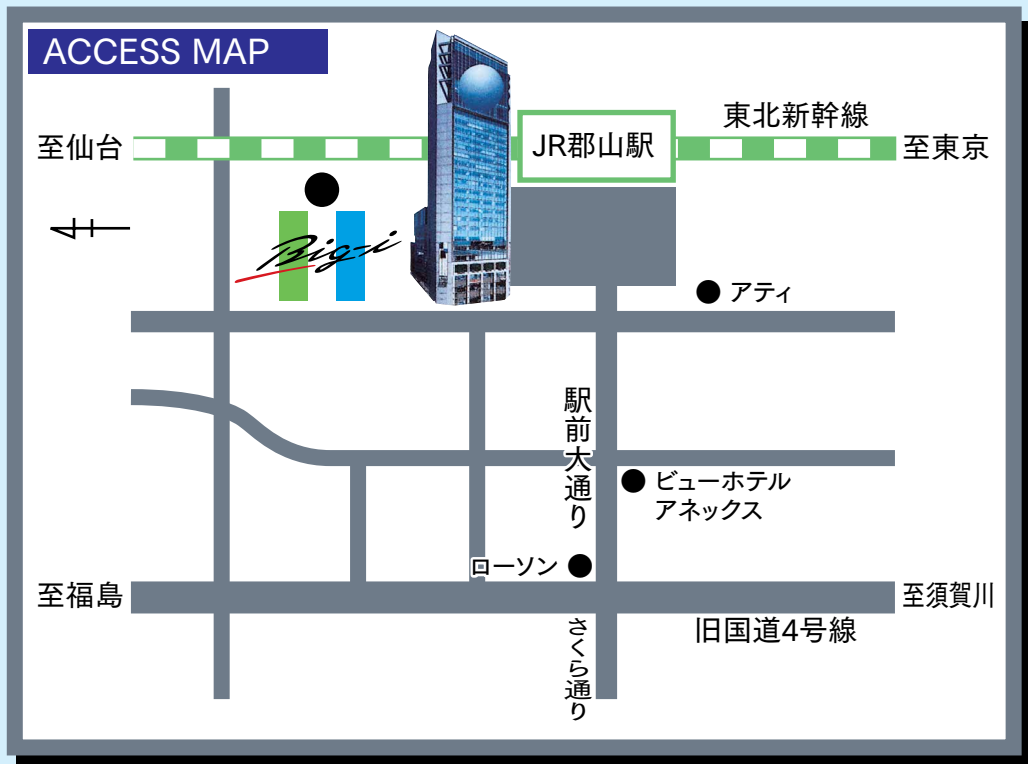
この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

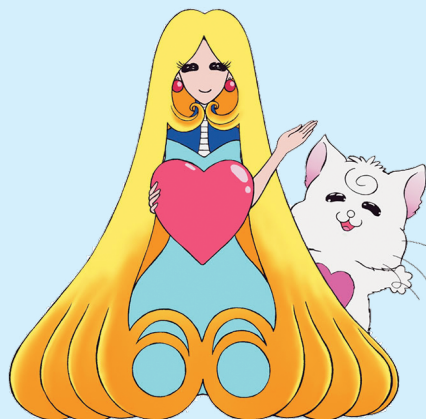
メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <http://www.space-park.jp>

スペースパーク

検索

Facebook配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市